836
209
3

艸草年録

鬼報録

九十一

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

鬼報録第四集

目録

一 紀聞 三月朔日上巳
二 尾藩ゟ差出書二通 上巳
三 久保英吉自名護屋 二月廿七日
四 江戸官員若年寄以下日付ニ至 二月中
五 仙臺ゟ事營中話 二月廿六日
六 宮宿ゟ文通 二月廿二日
七 紀聞
八 上州筋打毀しヶ所聞書
九 岡本数馬話 正月三日戦始末
十 紀聞 自二月八日 至同十四日
十一 三月朔日附片岡宣里書翰
十二 宮方氏所写送紀聞
十三 宮方氏三月四日発書
十四 慶喜公御謹慎被仰出候 二月
十五 内海六臺場御免
十六 御供行列改革
十七 善光寺本願上人上京護送
十八 三月十九日紀聞

帝國圖書館藏
大正 9. 5. 27 購求

十九 三月六日紀聞
二十 北陸道総督府通行ニ付高田宿通達 并年礼併書
二一 同上通行觀者説
二二 渡辺関口督府ゟ賞賜
二三 北陸道鎮撫御達書
二四 北総督府官吏姓名
二五 同上行列
二六 紀聞
二七 重内話
二八 甲府話 附 紀聞東西新説 三月廿五日ヨリ廿七
二九 東山総督府御達信州列藩ヘ鎮撫被仰付
三十 紀聞 三月廿五六七日 四月一日迄
三一 名古屋話 三月廿六日
三二 武上形勢申上 相違
三三 江戸噂 三月廿七日
三四 京之噂
三五 何名古屋三月十七日書状
三六 紀伊殿御家中ヘ達面写
三七 大坂御親征御延引 西丸諸役所引拂
三八 仁和寺宮薩侯ニ御入京高野邊迄七宿説
三九 上野唯誠院話徳川家御恭順条 并 三丈未覚大願
四十 山本宗節話同上廿ヶ條
四一 在江戸某氏三月廿一日書翰抄
四二 三月廿四日江戸某ゟ来書抄
四三 北陸鎮撫使通行雑説
四四 京都話 四月朔
四五 尾州ヶ中之條ニ人数到着其外聞書 右同可紙記
四六 長崎住吉町其外年寄一尾州ゟ言上書 戊辰二月
四七 船行日記
四八 紀江戸説
四九 在江戸宮方四月朔書抄
五十 東西談記 四月十二三四日
五一 御意之趣書付
五二 西勅使入城 天裁之御出并廿ヶ條 四月四日
五三 四月二日丹波守書ヲ以達書
五四 隊名徳川縁
五五 在江戸某氏筆記写
五六 演説写
五七 戊辰御上京御供名面
五八 同上御休泊
五九 新聞 某氏新聞 四月十二日
六十 四月十三日演説 并 親征神器神体設
六一 飯山招兵ニ付松平加賀守近引 四月十二日
六二 秘説

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

三月朔日

(一)

一 上州手殺戸数 吉井宿七軒 池村弐軒 小幡村弐軒 三ッ木村壱軒 神田村三軒 島原村壱軒 岩山村壱軒 藤谷村壱軒 西澤村壱軒 新町宿五軒 大夫人は傍に浣亭所に有之云

一 三月朔 近辺〔?〕[illegible]早かるへき旨去る十七日屋形に〔?〕[illegible]を〔?〕[illegible]尾州侯より〔?〕[illegible]隈〔?〕[illegible]し朝命を〔?〕[illegible]られ〔?〕[illegible]と〔?〕[illegible]又〔?〕[illegible]にて[illegible]

一 説には尾張〔?〕[illegible]行〔?〕[illegible]先達駿府頭甲州〔?〕[illegible]一〔?〕[illegible]云

一 [illegible]同様〔?〕[illegible]早かるへき〔?〕[illegible]成〔?〕[illegible]行〔?〕[illegible]

一 三月〔?〕[illegible]宮〔?〕[illegible]早かるへき〔?〕[illegible]十二人〔?〕[illegible]へ行〔?〕

一 [illegible]廿二日〔?〕[illegible]宮〔?〕[illegible]

一 三日中[illegible]一日[illegible]

一 [illegible]中将[illegible]

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』 請求記号 836-3
ガラス使用

然ルニ[illegible]一威ト唱ヘ各国随ヒ申ト此代ノ世界ヲ悦ト恐ルヽト云思[illegible]松平不興[illegible]方
[illegible]大事到来近ク万民ノ困苦ト[illegible]中納言[illegible]孫我等
[illegible]中ノ条ハ此内ヨリ[illegible]思召[illegible]
[illegible]使トシテ一行[illegible]徳川領ハ[illegible]
数ヶ国[illegible]

一 当年[illegible]廿一[illegible]横濱[illegible]

一 山領 堺 横ノ尺ヶ所ハ 天朝御領 是迄御取締トシテ[illegible]遣云

一 小[illegible]矢澤 松平[illegible] 松平 信濃守 松井 水野[illegible] 領分ハ何レモ使者ヲ
[illegible]新政令布告[illegible]ヘシ 近[illegible]
[illegible]使[illegible]相[illegible]

一 会津藩士[illegible]山本覚馬 是儀参謀[illegible]

一 服ヲ失[illegible]包[illegible]一同ニ入[illegible]一名[illegible]
[illegible] 二月十七日 [illegible]
時従[illegible]三十二人[illegible]
[illegible]

一 [illegible]

一 江戸ノ婦女等ヲ[illegible]京都[illegible]人[illegible]

一 正月[illegible]十人[illegible]京師ノ命ヲ奉セラル[illegible]
[illegible]
王ニ[illegible]鎮撫使[illegible]士[illegible]
勅使[illegible]勅使旅館ヲ[illegible]

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

るゝ皆様て今人ハ猶ヲ引続キ備大手先村氏ヲ務錠宅修繕ノ事ヲ為ス
先場去ル時［illegible］宗高敬氏［illegible］ト本陣ト［illegible］下ル
ハ［illegible］勅使ハ［illegible］先ハ［illegible］ヲ推先［illegible］
［illegible］

一 当方ハ人衆ノ［illegible］所下谷和泉橋医学館ニ行［illegible］儒者百余人宿居［illegible］
［illegible］無ハ流章［illegible］

一 二月廿六日条途河原右京差図御発ニテ近衛殿之尾州、慶喜御建之言書々
御請書 基近衛殿ニ而三月朔日早追ニテ罷越［illegible］条途ニテ［illegible］行［illegible］

私儀
朝廷尊載之義ハ固有之本心ニ罷在候今般
朝命御達之趣奉拝承候付而ハ弥以尊奉仕一藩大奮奥近隣諸侯中
合勤
王勉励尽力可仕候此段御請申上候以上
慶応四辰三月
御名

一
今般
朝命御達之趣謹而奉拝承候

一信濃守右京大夫共
朝廷尊戴之儀ハ固有之本心ニ御座候ヘ共私共ニ於ても其意を體し他
念無御座候ニ依テ此度御達之趣弥以遵奉仕同藩ハ勿論近隣諸藩
申合
勤
王勉励盡力可仕候事

一賊徒御征伐并非常之節
朝命御達御指揮次第出兵等可仕候事

一旧幕府ハ其国之家有之候共
御當家ハ何之上ニても其指揮ニ應し申間敷候事

一隣境徳川家舊領之地取締仕置
御沙汰相待可申事

一役向之者共人
御當家ハ差出置急速御達之義御聞済為仕可申事
右之條々謹而御請申上候為後日證書如件
慶應四戊辰三月
家老六人衆印

竊謂尾藩所為大ニ可疑 朝廷幕府命令二途ニ出テ國体不立ヲ以テ前将軍英
断辞職帰政有之 朝廷遂ニ摂関幕府を廃せられ萬機 親裁軍国之大政柄将
帰一併征伐ハ国中之大事也列藩必官符ニ従テ可奉行即今日東山道出兵ノ
如キ則是也尾藩至所関若尾藩之定シ指揮ニ由テ出兵セハ何ソ旧幕府を廃
セン乎又徳川公已ニ大政帰上之後何ノ天下諸侯ヲ號令セン況ヤ 朝敵タリ征討之
大號令ヲ天下ニ布諧セリ縦令尾藩ニ仍其指令アリとも旧幕府之指揮ニ應ずるの
理アラン乎未僕ノ如キ所謂證人即質を取るハ隣国諸藩ヲ脅従旁盟ニテ

旧幕府ニ代リ兵馬之権ヲ執ルコトヲ謀ルニ似タリ其意不可測其ノ所為大可疑
各藩幕府の管轄を出て尾藩の羈絡ニ入リ再テ其附庸属国タラントス可
疑ヲ不疑唯々聴従シテ此御書ニ出スコト傷ムヘキ哉可怯や

戊辰三月　　　　臥狂妄評

三　久保英市白石議屋へ寄宿罷在　戊辰二月廿六日出三月二日達之

近藤伝今日早速ニ[illegible]一封[illegible]今日[illegible]
[illegible]一[illegible]有[illegible]誠ニ[illegible]新
[illegible]自ラ不[illegible]一[illegible]天神ニ[illegible]其新選組
[illegible]満街[illegible]先大坂[illegible]
[illegible]新選ハ[illegible]
[illegible]　二月廿七日

旅中より

三月六日

江戸を二月廿九日立ニて飯國之志垣村岡本廣太持参

四

若年寄 平岡丹波守　　陸軍総裁 矢田堀讃岐守　　石川河内守　　松浦越中守
戸田大和守　　外国総裁 河津伊豆守　　勘定奉行 平岡越中守　　妻木多宮
浅野美作守　　海軍副 榎本和泉守　　加藤丹後守　　河田相模守
川勝備後守　　陸軍総裁 藤沢志摩守　　松本寿太夫　　榎本対馬守
大久保一翁　　会計副 成島大隅守　　原 弥十郎　　梅沢孫太郎
服部筑前守　　外国副 川勝近江守　　大目付 織田和泉守　　[illegible]
今川式部大輔　　同副総裁 坪田伯耆守　　堀 錠之助　　岡田斧吉郎
[illegible]遠江守　　一 赤松左衛門尉　　本多邦之助　　津田真一郎
会計総裁 山口駿河守　　目付 黒川近江守　　御目付 [illegible]　　加藤弘蔵

国立国会図書館　　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

杉浦岡次郎　宮岡彦七　黒川嘉蔵　佐久間謙三郎

加藤宗次郎　中島信太郎

（五）

京都ニ仙臺ゟ出兵ニ候處今般知候ニ付御儀者此度薩州ニ同國ニ軍艦

をもって戦争をいたし候付右ニ付近國之儀ハ同人共ゟ申文ニ付外様之御方ニ而

多人数戦争開之事ニ候而鋭白川海辺ニ追而右同様之向開仕候由ニ付大ニ實

開仕候ニ戦争ニ相成候ニ付右ニ付追ニ丹羽侍之入役等ニ取締成候ニ付鋭

右之二月六日當京都ニ為御請ニ附し

（六）

追ゟ御下向也

関東御征伐ニ付名古屋表ニ御逗留ニ相成候ニ付先陣御出陣之儀御名前左之通

二月十七日名古屋御出立　長州　薩州

同十八日御出立　尾州　紀州

同十九日　越前　備前

右何れも御先勢御供中ニ御座候

二月九日御出立　橋本少将　柳原侍従

右御警衛衆　尾州　芸州　大村　佐土原

右何れも御供中ニ而御座候所近日御出陣御同勢五十万人余

一此度一日来名古屋御出立ニ而佐屋廻リ名古屋表御出立也

一

大総督　有栖川帥ノ御宮　正親町　西四辻　穂波　阿（河）鰭

諸大夫　山本伊勢守　中川信濃守　前川式部少輔

御参謀　三間屋外記　田口　田中

地下　坊川備中　松尾信濃　西地清光

右御警衛

箱根 阿州 中川修理大夫 亀井 久留島 亀山

三
吉田 尾州 加州 津和野

右何連も御所中并ニ御本陣此度警衛之人数合ハ凡百万石程ニ而、今年
年ノ割ニ而、毛之宮様御使者ヲ以御沙汰之趣ニ付、先日より追々御下向御手扱
ニ御警衛之儀被仰付候由

中仙道御下向 岩倉

御警衛 彦根 大垣其外

右之通急便を以御触ニ而中ニ候

二月十二日夕刻認メ

七

京都より

一 肥後藩 加州 仙台之 朝命を尊奉し、…大ニ恩ヲ蒙候事

一 従前宰相公 大君ニ而 御事参り候節御請不致候処被成候事

一 当月中兵庫ニ而異人共五人を斬殺候ニ付、一義仕候由、近頃横浜ニ集衆会議有之事

一 日光御門主ニ而 御説を受、徒今の悪事を為し候事

一 細川主ハ説を以上山異族近国へ差し借成候事

八 上州筋打毀し之所聞書

二月廿四日晩 新町 本田 吉井 富岡 一ノ宮 高崎 下仁田 磯部

二月廿二日晩 板鼻 箕輪 金子 吉野 下村 高崎 小幡

三月二日高崎之聞書ニ、…多人数ニ而昨今晩ハ高崎ニ押来と…

酒屋穀屋質屋…在々ニ立入…打潰し…申候事

述けと云咄荒町福田氏之聞

九

一 関東数萬事二月元日夕大坂出立上京大仏ニ土州勢陣取りゐたるを引拂 御上洛之節ゆ人
数ニて警衛として拙合之罷越し此処早急ニハ引拂兼候旨御答拙合申哉共其嶽
公数萬上京の聞及罷出在候罷出処の取次を以大坂ニてハ軍ニ相成り候由有之ニ付口上付
右様之儀無之旨申上処右様ニ而ハ宜敷候哉右様之儀無之旨態々可申上処十日も立は
內ニハ必ス諸侯之上座有栖川宮ニ而御続従義之 御沙汰ニ相成候文言候人々ニ
共様ハ衆人之所悪ニ候ゆる必其源之可致察知不申候而ハ難相成ニ付申候由
然し一刻も上京之儀急き候上ニ而右之旨申早朝出立伏見ニかゝりハ追ゝ色め
き候儀有之候先ニ右様申候処手豊前守 大田 右衛 ハ相達申し哉答ニ而護衛ニ
致し近ては完了ゝ候致し御ゆるし之許可右共ニ共方ゟ方来申ノ先ニ御寺ニ

長州勢在陣ニ付右ニ罷越し候ニ付戦ハ薩人ゟ之元合ニ而右分人へ對し候ニハ此方ニて申之出居
之院の内ニ而右ニて候一刻も遠方ニ付而院ニ付而も決て申候其答ゆへ付引取り候院大田
右侯へ申上人数之様子を見て来歩兵組頭等之何分ニも引取右之伴ひ申付候を
申出候ニ大坂城ゟ総出 上様御目通ニ於而直御申上ゟ下申付候ニ付 御目通ニて申出
候申候ハ益々ゝ御而経開右余ニ付り 有之ニ小十人ニ而見合之上之並居り遠
ゆ申之歳下 右様小十人 持参之 御目見申上候ハ手前ゟ而御前ゟ通り申付候ハ
様子御見付黒川右衛門一同騒動ニ罷越し黒川ハ同家ニ御座候ニ付引取先月来ハ
右様ニて一件ハ黒川京都へ御使ニ而罷越し駿府ニ出候由
按ニ右数萬ゟ者ニ大坂城ニ登りて申上し時ハ既ニ 還御ありしと申きに
一件ニいまた大坂城を 出御し玉ハさりし内ニ而先ニ立て戦初りし故ニ始
終大坂城ニ在らせられしと申せし也此事如何あらん宇未ニ信セられ

三月八日

一 こゝ清白向ハ此集ニ右之今宗服奉入レトも云又ハ江戸之眼を晒シ先不七
日とも七千とも有之ここ之而右軍を迎て帰り其表を包み也又ハ七云

一 先頃御用御意之者其後ハ当分之而ハ先方之尾人ハ些引之
其後右軍之道之派於相集候之ハ下諸候之於所之右等相其方之人
追々之之来者もらハしハ又へ任せ来候之候ハ其外一切候へ度
ハ此度之收を放ハ行候もらハ之ハ勝手次第之ト

一 こゝ御用筋申之人上京ハ候之之一ケ類ト云ハ相成之迄之事も有之候へハ
人数引連之来ハノニも道引之先ハ出しも御何ハ御目や候へ
もハ其事ハも之其之之追下事之之ハ御様之之之之来之之
之然之大之ハ之ハ之之其引之之も之之

一 其節之ハ御用其大人数引返し之迄事之事之ハ大勢之ハし之之

国立国会図書館　　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

十

ガラス使用

三月九日

来ル[illegible]之上ニ而[illegible]ニ付[illegible]候[illegible]由

一 三月廿[illegible]公[illegible]手早追ニ而到来[illegible]一所[illegible]
（[illegible]）

一 加賀屋敷 宮姫 昨日[illegible]行[illegible]

一 [illegible]（[illegible]之）[illegible]峠[illegible]通[illegible]

一 昨晩[illegible]行[illegible]浪士[illegible]拾人[illegible]行よし

一 京都へも[illegible]人[illegible]よし

一 [illegible]

一 大坂[illegible]中村仲太[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

三月十日

一 [illegible]文外[illegible]

[illegible]大坂[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 伊[illegible]人[illegible]

[illegible]

一 牧良[illegible]早追[illegible]

[illegible]

一 [illegible]和田[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 今十日熊谷宿通行ニ備（ハシ）ヘ[illegible]来リ行キ候よし

一 八王子[illegible]新撰組[illegible]勇[illegible]謀候よし

一 吉屋
古山作左衛門と云歩兵頭並を率て終ニ脱走致し候よし

一 牧良ハ領分先鋒ニハ深谷ニ至候由

一 東山道鎮撫使三月朔日小田原着之由

一 牧良の大宮駅ニ遣置候説を二宿申候処[illegible]

行キ候よし

一 牧良の家宅ニ人ヲ入[illegible]勝ツ鉄炮ヲ[illegible]

一 或説江戸米価二斗七升ニ下ル 諸藩仮国貯穀ヲ買故ナラン

一 善光寺内二斗三升宗張札ヲ倒シテ二升下落セシより一宗徒ハ大勧進ニ備ナリシカ大分願ヨリ停止ナル由

一 公方様御隠居ニ付[illegible]

[illegible]

[illegible]八百人[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又此八人[illegible]

一 仙台侯会津征伐[illegible]

[illegible]

一 [illegible]諸藩ニ士卒[illegible]

[illegible]

一 岩村田ニ於テ役輔役近侍詰之節十二日罰金ヲ借リ 初早駕ニ臨難ハ走リテ如此讃長
之人数道両側ニ四百人程並居ル名加馬ヲ留メ早不権行ニハ[illegible]行シ候段ト申シ
様ヤウ任 御免字来[illegible]ニ御殿ヨリ役所ニテ申渡シ候役所ヘ申付合ニ兵庫殿ニ立ヘ
御大ハ其労ニ付留ト為積之由ニハ候追之者ト一同存シ申候ヘ共御判ニ付[illegible]ニ付
存ル所ニ有之候由ニテ各名札差下候[illegible]作[illegible]大[illegible]案書キシ
人ニ御座候ニ付[illegible]追ニ近来ニテ[illegible]ヲ極メ[illegible]ニ付解十人ニテ松
[illegible]ハ[illegible]ニ付[illegible]ヤ[illegible]口ヲ遅シ[illegible]一
[illegible]宜[illegible]ヤ[illegible]欲[illegible]小橋ヲ[illegible]乱[illegible]
[illegible]服[illegible]小[illegible]役[illegible]都合[illegible]人[illegible]
役[illegible]人[illegible]服刀[illegible]礼[illegible]大[illegible]
[illegible]一寸[illegible]近[illegible] 口[illegible]

一 追手ニ右之[illegible]日役[illegible]蕎麦ヲ求メ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]計[illegible]義経[illegible] [illegible]不見[illegible]大[illegible]
両刀ト[illegible]ヲ[illegible]
一 [illegible]八千[illegible]十八[illegible]
[illegible]十八千[illegible]
一 或人云五日ハ雨[illegible]追手[illegible]公子馬上[illegible]
[illegible]
一 勇壮[illegible]人[illegible]兵[illegible]

を犯せハ首を一刀ニ斬ナレト何ノ由ニテ刑トテ頸を梟セラレシヤ又我筆
ニ若ヲ給ヘハ公子ニ不知ハ如クナルヘシ

一 近江一所ニ異説ニハ甲州ニ集ル者ハ僅ニ三百計之ニ自ラ土州勢ト戦ニ
押寄ス者ニ戦ニ辞尤ニ逆及距離ニ陸ニ於テ躊躇シテ不追賊ハ待改
ケテ驚絶セラ残土人ハ傷ヲ蒙ル者アリ止ニ因テ勢ヲ
借ハ有リ攻寄レハ賊ハ已ニ何也ヘカ引去テ不在僅ニ引後レ人数人ト生捕
捨テ糺ヲ捨テ…此時我隊…
隊ヲ二手ニ…

一 追分人伝安宅…後一…ヲ行ヲ怪…
…
…
…

三月十一日

十一ハ従ア

一 三月十一日館孝甲府ニ之際ニ行報ヲ甲府ニ任ハ東山道総督府之命ヲ奉シ沼津役
ニ到着…今ニ十ニ後一日東田子…ス我ガ兵ヲ城ヲ去ル近辺ニ宿陣屯役
…とのよふなりしト云 一説ニハ東山道ノ兵ニ先ムシ従一日…ノ向ヤ否只道…甲府…追…諸ト云
右甲府守衛之手ニ在ル…ヤ元甲州ハ東山道ニ隷シテ山道ヲ不属国ナリ故
道総督之處分ニ因ニ…似タリ東山道総督府ノ命令ニ一途ニ出レハ一ツ疑ヲ
ぐ名ト同ク…我ハ吾総督之命ヲ奉シ已ニ取リ守リ此城ヲ
又…伝ニ命他ニ…等ヲ承従シ沼津…ヲ
隊…吾総督之節度ヲ…国ニ一ノ進退之已ニ退城ニ後ハ…
踏…山道出兵…大総督…
近之東山道軍ニ…得失…

一 …後…

三月十三日

し今夕（十三）にも引取る由沙汰ありと云

一 小笠原某二千人を率ゐ 但人足共也と云 甲州路宮之内ニ而 [illegible] 人有り

小笠原将軍謹慎中一橋氏集ニ [illegible] 法 [illegible] 候ハ [illegible]

一 橋氏集一裁ヲ他ハ本体ハ三里計離て小原ト云処之（並山 [illegible] 村名 古来 [illegible] 能ナラン）

一 江府ニ而ハ 松平右兵衛佐（以人名未詳）を以 勅使を郊外ニ迎ヘ大城ヲ開て奉之城辺数町

為之邸宅を皆避去て官軍之陣営ト為し 恭順之道を謁し 罪ヲ待ニ一向

ら待ち余他ト云一義無之由

一 二月十三日九時頃 [illegible] 人 [illegible]（全権公使 [illegible]）ニ付 上巳ニ英仏蘭公使参内 朝

之途中暴客二人有て異人七人ニ傷手を負セ [illegible] 一人討留

を斬る [illegible] 人ハ [illegible] 候ハ [illegible] 事 [illegible] 候 [illegible]

知ト云廿一 [illegible] 使ハ [illegible] 途中 [illegible] 行 [illegible] 集 [illegible]（[illegible] 風聞云）

三月十四日

一 加州大君夫人 徳川氏 三月十三日 [illegible] 参 [illegible]

城 [illegible] 官軍 [illegible] 道を避て [illegible] 道を経て

[illegible] 早追 勅使館 [illegible] 下

[illegible] 人 [illegible] 知 [illegible]

我君夫人 [illegible] 一條之葵章 [illegible] 中ニ [illegible] 人 [illegible]

[illegible] 枚 [illegible] 葵を [illegible]

一 三月九日（七日トモ）[illegible] 代 [illegible]

[illegible] 一義 [illegible] 途 [illegible] 下之士大 [illegible]

近在 [illegible] を [illegible] 等 [illegible] 辺 [illegible]

一 青ハ未 [illegible] 田 [illegible]

一 明 [illegible] 歩兵 [illegible] 拘 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

一 当兵英語辞書之内を以て書き又は了仮名に而其に候事勿論
再ひ懸り申候所近郷諸家よりも一所に於て在之候よし此使者士
又も当院ヲ歎く事は前しくも申やめ之と云
一 仙台藩も多く出兵致候よし
一 諸藩死傷之儀ハ其外共に死傷之者此迄の方留守之節ニ出合候由ニ而表状
旧太夫ノ儀ハ右大刀之上より申候得共其後ハ申在候様ニ承り候と云
秋ても
承り候ニ而も分らぬ事よし
一 岩倉殿ハ総而谷ニ常陸兼候事表向一所ハ此節ニ而君之 近辺
大臣有之候節長…戦ニ一ヶ成候由ニ而先君之方
…御役中ニ候ハ以ての説ニ而ハ
…当方…承り之と云
一 御近くも降も其営根ハ不致よし
十四紙

一説ニハ此集ノ書ニ亦は増補ニ徒ニて編輯ス申候…云
出典不明 宝暦 …

（十一）三月朔日附宮重書状 同十五日到来
去ル二月十六日之通 西大夫人御方御供ニ付御上京御儀ニ付病気ニ御気虚甚大事ニ付小
説得長途之事是ハ若御途中ニ而御変之事も有之候て申難之者御詐言上相残り
不申上御見合ニも被仰聞ニ付御供之御用意ル子供引ニ合を為し申ニも心配之ハ
未だ入候ヨ又御旅無之御屋敷ニ人ニ而諸切御上屋敷ニ引移御屋敷ハ跡之御在之内六七
月頃ニ至之ハ町之方御屋敷御引払ニ而御為ニ相成候由此荷物ニ而多分之定府長詰之者
表之屋敷ニ有之者ハ跡ハ元之者中ニ而案入之訳ニ而半分ハ西御奥様御武具方御荷物
斗ニ而御長持之方凡四百余ニ而御成御作方荷物并御荷物枝橋ニ而も品々ハ斗凡四百
験も有之事ニ而付候ニ付も不申ニ中加御座候所御出入不申ニ御也之御荷物而分ニ中仙道
詳之品之様又御物騒御軍勢今頃ニ木曽路を御通行下諏訪辺ニ而御採出し尾州之所も
南方御荷物次第ニ不動之半分ハ此晦日迄ニ一万石以上之御方不残此地御引払交代御差合

国立国会図書館 タイトル『鬼報録並外録』 請求記号 836-3
ガラス使用

一 歩兵并浪士等ニ而所々ニ立越候者又江戸脱走之者在仙台辺屯集致候由
再ヒ勢ヲ集メ日光宇都宮辺等ニ而一所ニ屯集致し候由 此侯(?)之士
尤も当浪ヲ追ヒ今ハ萎靡し候やめ之由云
一 仙台藩も多く出張致し候由
一 脇坂修理亮殿ニ同伴致し候処其後追々東軍え降参ニ出会同藩
旧大垣侯ハ請ニ而大和刀返し奉候由右後ノ同藩ヘ致し候引取置由云
秋て相成り候
ヨ廻りニ而会ニ相成候
一 岩倉殿ハ総督ニ而陣中ニ而白河所ハ他藩之者孫ニ君ニ 近辺
大臣有之候長州藩え降参之趣ニ候思召ニ而一同盛岡藩因之先君之方
ハ鎮将事ニ而追ニ直候へとも相成彼之中ニ出張御説ニて ハ
上ハ日本中ニ下ハ必一戦ニ而の為御沙汰之由云
一 奥羽越降伏も来ル哉恨ハ不致候由
十四紙

(十二) 三月廿日附宮之書翰 同十五日至来
去ル二月二十五日遡 西大夫人御方御使ニ而御代々如例ニ持参之御気色宜先大宮様ニ而も御座候小
読持長逢え是非若御途中ニ而御見え之由仰出候雅楽え其後御許相上相残り其後当以
不申上御見合ニ而も此御沙汰ニ而御使ニ御用意ハ之子供引ヲ決合を存し候ニ而も心配共ハ
兵ニ入ハ且又御警衛之御座候ニ付人ニ而詮切御上座致候引移西御座敷辺ニ在之南六七
月頃ニ而之ニ而も西御座敷御引挿ニ而も御座候処此荷物ニ而多く見え定府長詰之所も
其外居合有之所も御座候処ニ而も御中も家入ニ沢山も西御奥方武具方御荷物
斗ニ而御長持之方凡四百棹ニ而も相成御家方荷物并御荷物枝橋ニ而も居ハ斗凡四百
駄も有之由ニ而御見えも致し候も不申ハ此御沙汰嫁様御出入不日ニ御出立御荷物并ニ而中仙道
諸ニ而も又御物替御軍勢今頃も木曽路を御越成下諏訪辺ニ而も御控被成候処も
西方御荷物等ヲ不動も手当ハ此晦日迄ニ而一万石以上之御方不残此地御引挿交代御見合

方今御遠慮ニ無之閑内ニ御知行有之御旗本方も御役所ニ而ハ御知行所ニ御引越有之候
事諸侯方御屋敷ゟ引払多く御出ニ相成候ニ付ても旅籠宿泊ニ付候御中屋敷ニも御家中余程居候
様子ニ候處ニ此程役御屋敷御門前を通り候得ハ殊外寂々敷見得候由大手御門も二月廿四日ゟ
昼夜詰詰候（是ハ御歩行并御番士）持御見附ゟ御旗本持ニ御見附ニも御番人無之市中乱妨人多芝高輪
辺屋辺ニ三四人組合徒党之人を却し物取仕候又ハ高見之淫漏ニ市中又品川新宿板橋
千住吉原抔ニも行申候又ハ多勢を相語り踏込乱妨仕候由久保町辺ニ暮六ツ時ゟハ
燈火を消し酒屋両替屋ハ店を閉る表通りハ切五六寸四方位ニ穴を明け売物仕候由市中
ニも御謹慎之御気色ニて市中四ツ時迄ニ追而御免相成ゟハ所々悪者も不残僧長ニ仕候由
叡山宮様小田原迄御発輿是ニ御逗留之事今日頃官軍駿府ゟ御乗込之由是ゟ江
戸近辺ゟ御押寄有之上ハ如何相成候哉此節も御謹慎ニ被成何も只恐懼被成候由定而一戦
先角不穏事ニ而抔御落着ニ実加ニ何ケ所ニ抔之説も有之候得ハ不平之者も有之由いつ迄ニ

雑也沢を相済候處抔も此ニ存ハ市中ニ有之十年前ニ十分ニ一ニ相成候由御長屋下役来此
表頭ゟ十分之一ニ相成御旗屋敷北條殿之角ゟ愛宕下辺迄見通し候　往来之人五六
人位ニ御座候尾張町辺ニ而店見世新も無之候由ニ候

三月十日

(十二) 紀事　宮力氏所録送　三月十日

先達而中上土州一条異人十六人之内士官十人船頭二人即死四人ハ餘り
申ト場所を堺ニ以座候土州ハ六十人斗之小銃隊ニ而屋下田二月二十八日各国
ミニストル此地ゟ参り候内ニ同日上野ニ参り上様へ御目通ニ参り寄来り
中ト異情ハ土州者之首級を取欲出州全国を取ゟ此二条ニ而談判之戦
争ト極り中英仏二国約定両条之兵合して相向ハ由英一国ニ而も長門
ニ而防兼ゆを二国之兵艦差向ハぬハ不都合至極之一而有之且土州を取

候ニ付追々四国ヲ併呑ノ企又大坂ニ而取手候を致由ニ御座候
此度之事ニ付終ニ奸人之思ひ通ニ落入候事ト相成国家之大患此事ニ
御座候此一事京師ニ而速之寛和ニ而処置相成不申ニ付此上之法
大政ト奉覚束事ニ存候
三日之事件後和戦之談論ニて上様を悪しく申者多分有之
由ニ御座候
征東将軍ニ被府近出張大和桜ニ京師近ニ而有之様子 上野宮様ニ
小田原之御滞留諸家も東海道ニ参り諸侯皆遊逃ニ滞留致し由
上田藩ニ而ハ御家ニ事を拵ニて悪しく申触候様子ニ御座候
会津ハ追々奥羽を致同盟候様子風聞ニ付
御国ニ而之大患と申ハ京都之新選組と申浪人之頭取近藤勇と
申者此度浪人ニ残居内ニ入込候而彼ニ人令詳と申次ニ当地之兵残り其向取播
府御城代之一ツ相成取エみ兼ニ相移兵候弾丸御ツ支配銃隊を多分ニ召連甲州
を収め令詳と双方ニて信越を圧倒し官軍之道を断切り申由ニ彼も大望
ニて甲越之独立致候一ノ企有之人心之様子ニも有之候ト信州ニ而東西軍之争地又
有権之事毎ニ事有之是又南北両軍之争地之四国之敵を受ト事故
迷惑至極之国と相成ト此時節信藩十侯之和親肝要ニ御座候得共是ニ
六ヶ敷此上ニ早く兵威を以て来る之外有之間敷寛之諸君ト得ニ見るら
ら歴到致され候ハゝ与み甲州ニ信州之出兵を多分佐久之是近之御料ニ而
ト出兵ニ而急速て和戦を十侯之所置ニ致ト得ニ佐久之兵を出候ニ付而
不利ニ有之候ハゝ残念此事ニ御座候
鍋島細川黒田加州四家此度 朝敵ニ被 仰出候由風聞ニ御座候
国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

鍋島ゟ二月廿六日七ヶ條申来上様御直ニ御下札ニ而御答有之候ニ付

写を一見致候所左之七ヶ条之内五条を

一 三代将軍ゟ御出以来是迄御家来と而得罷在候処此度不思儀之事ニ而

徳川氏ニ而も數百年来之名家只今御一存を被奪飯改権御宗之

以一人之御存念哉御代ニ而も為宜御家を如何成候御存念か有之候

二 御恭順而御出候処如何ニ而近く御恭順御存意之成候哉と有之候

三 勅命と申候得者何様之者中出候而も畏思召候哉有之候

四 此度之戦争君側之奸御座候得者事付二三藩申合て相撲候 勅命

相下り候ハヽ畏思召候哉有之候

五 御家来と相心得居候処御家来之者共御座候か有之候

右之条々ニ而有之候ニ寄有之一見致候　　六七未知

盡忠ノ令をアて十四日新台御旗本并諸家之士三四百人打寄申候多分東本

願寺ニて致候処二月廿八日昌平橋外桜之馬場ニて會合候張札所々ゟ致

候由是ハ皆高麗者寄合之様子之風聞有之候へ共文並上書之文有之候ハ

得共下ゟ申来ニ付未承候其上何も仕出し不申候事よし

三月限り日雇等も不残申付全く右之ゟ日數に患人者も好み之気と申候所

追々進々人数相成弥申候ニ付歩行ニ而相成申候

今日両天ニて他出も之念候ニ出候所手偲手入御覧ニ而追て可申上候

三月猶ハ

（十三）宮島氏三月四日参候由

両三日前甲上候甲府ゟ参候侯近藤勇事新篇ニ而人数出向候処内藤某大

久保某并弾左衛門隠居弾内記と申銃隊引連通行致由右内藤太近

為勇之変名大久保と京都ニて近藤と同役相勤候土方某与申者 又弾
内記ハ当主之名ニて隠居譲ニ候者 悴之名ニて先キ様子今ハ弾右衛門
当朔日出立致し同日品川千住両宿ニ歩兵二大隊ニて出張仕候 西
三日前ニ大砲頭 歩兵指揮役頭取ニ定ニ参り候 皆役府ニ結切
之開兵不相成候故今日も宿ニて此所ニ参り指揮役頭取両人ヲ仕候如
会津表内ニ一大隊ニて 歩兵並之役ニ相添候筈ニ相成 其外会津ニ伝
習隊近ニ国ニ参り候付 伝習之者ゞ又指揮役頭取ト歩兵並大隊式気り
ハ了ノ相成中ニ会之玉川之宿頼ニ度国ハ参り候付明後日ニ参り候之通々
信州ニて来ル何日一了アト申ニ候ハ
指揮役頭取土屋作右衛門与申者 兵学者ニて英国ニ修業ハ参り居候て伝
習済之上帰国致し者ニて余程策略も有之者 先達而甲府ニ向ひ出張仕候

今一橋公会同ヨリ
誤謬タルナラン

歩兵一大隊計追欠参り説得ニて上州岩鼻陣屋ニ差置候処 又当月二日一大隊召連
同所ニ参り候 此者信州を説得致し候事之趣意ハ何事も昨年之見込ニ御座候由ニ承り
御発向之家人表向之勝手ニて居候引も不知右之事ニ参り申候 私今日も下谷
大砲頭近参り承り候多見込申候
今日御上屋敷前 馬上二千騎計芝之方ニ参り申候 参り候者多分上様与了
座ト存中馬上ニて色々之装束戎軍装様々者も有之東西ハ騒々敷何連近比
ニ可有之哉ニ相見申候
上野宮様御警衛ハ諸侯人数小田原ニ御迎ニ御上京相成申候
今日近日近若年寄之松平左衛門尉様 勅使御迎として御参府ニ御座候ニ私義
其屋敷前を通行之節 九ツ時頃 今ハも御参府ニ相成一了候ニ承り申候
右前後之儀ハ家来ニ承り候由 他ハ不出候一了 来ル下旬其頃之 私罷出て

訛傳次

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

此度京都表御軍勢御差向相成既東海道筋ニ御先鋒発行之由相聞候ニ付素ゟ
朝廷ニ対シ奉り深ク　御謹慎被為在候儀ニ付而ハ猶又　御家来共ニ至迄
奉仕　勤王之御素志相貫候様ニ遊思召付万一　官軍ニ対シ抗衡
ヶ間敷所業於有之候而ハ　天朝ニ対シ恐入候而已ならず夫々之者御誠
意も不相達万民塗炭ニ陥入候様ニ相成候而ハ猶更恐入候儀ニ付一同謹慎罷
在候様一乃ヶ敷儀ニ至候而者御為ニ不相成候間能々御主意之趣謹而相守可申候
右之趣向々ニ不洩様可相達旨被　仰出候
右之趣今般一同ニ相達候　二月
右之通被　仰出候
右之趣急度可相守者也　三月十五日

御名

十五 右光達ハ田浦ニ警衛之上ニ而[illegible]ニ而[illegible]被仰付[illegible]
[illegible]人数[illegible]
[illegible]
[illegible] 三月[illegible]

十六 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十七 [illegible] 宮下米男
[illegible]
[illegible]
[illegible]

三月十六日

宮下寛三郎　木村[illegible]三郎　今井[illegible]三郎
矢野米平　小野兼男　馬場悦之進
長谷川勝三郎　木下末男　木村馬之助　今井廣見
吉田虎之助　柳 廣三郎　宮原小三郎　吉川謙之助
白川宣馬　山浦勝三郎　佐久間久次郎　赤沢熊之助

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』 請求記号 836-3
ガラス使用

日ヲ出立致シテ　三月十四日ニ至リ夫ヨリ北陸道通リ十四日迄ニ
（北陸鎮撫使ハ本営ヲ高田ニ至リシナリ）
一　日高柳宿ニテ大ニ続キ其外所ノ口宿等明細ハ解面九ヶ所由
其外五貫目ニテ打出シ候由
右領分人数凡千人余リ出張シ候由

十八　三月十九日紀事
牧良ノ大宮駅ハ遺兵ニテ銃砲ヲ打掛相戦ヒ退キ候所直ニ侍兵得タル由ニ
今日陣屋ヘ火ヲ掛ケ候ニ付破裂ヲ打殺シ且放火シ退キ又其近ニ行タルヨシ
千住ニ於テ銃丸乱発中ヲ潜リ通リ来ルヨリ何方ヘ参ルヤ宮ニ至ル
一　武州熊谷駅近所八木原（矢木　深田）（幡羅郡八木田トモ云　八木原ハ別ニ名見）ニ歩兵八百人ニ薩長先鋒ニテ夜
襲ニ為シテ一戦ニ追散シ大砲二門小銃若干挺酒樽数荷ヲ分捕セルヨシ
一　国元隊ニ銃卒ハ稲多ク限チ高チ額ニ雪後方ヲ彼ノ手ニ集メ歩兵ハ新発田
一　北陸道鎮撫使（中山弟中将忠愛朝臣）加州ヨリ高田ニ至リ護衛ニ遣ス所尾張領ノ柏
崎会津領　ハ人数ヲ出シ主人謹慎中タリトモ打断ハ百リ致トアリ右ヨリ行
一　新発田ニハ七藩ヨリ三国通長岡新発田ニ巡行アルヘキトカ云ニ付其儀ハ許容
之ヲ領分ニテ致ステセ一旦取リテ加勢モ仰付ルヨシ

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

此賊六人会ニ而
補元道尊一
作方の寓居
済候也云

一 中山道一千八百人とも三千人とも云

一 昨十七日夜岩鼻村ニ而[illegible]小野ニ而岩鼻村[illegible]村役人[illegible]者
賊ハ金銭五貫文金[illegible]衣類を剥れ手縛され[illegible]賊ハ長一刀を帯
し[illegible]を頭ニ[illegible]又甲道の[illegible]
[illegible]中[illegible]村[illegible]者[illegible]剥れ[illegible]裸[illegible]
[illegible]又[illegible]道の[illegible]岩鼻一[illegible]の[illegible] 甘[illegible]
[illegible]刀を[illegible]故[illegible]
[illegible]一夜[illegible]賊[illegible]候道[illegible]
[illegible]二人[illegible]夜の[illegible]行[illegible]の[illegible]一賊[illegible]
道[illegible]
[illegible]近郷ニて[illegible]等[illegible]と云

一 江戸ハ[illegible]国[illegible]道故諸物価一日ハ[illegible]下[illegible]金ハ一日ハ一[illegible]
[illegible]
大ニ[illegible]
一 [illegible] 十[illegible] 白米[illegible] [illegible]十七[illegible]
一 大豆[illegible]代[illegible] 白米[illegible] 白[illegible]一文代[illegible]
一 [illegible]
[illegible]右ハ[illegible]代[illegible]
十九 [illegible]日[illegible]口[illegible]
一 [illegible]之[illegible]人[illegible]
一 [illegible]辺[illegible]起[illegible]人[illegible]
[illegible]之[illegible]和[illegible]

長ク朝鮮ヲつとさん一致シても支當救之ヲ又十分ト見て居の
備ニシテ脱走之所也ト思ク御さて又君勢ハ薩も勢之脱走隊の御味
と思く発砲ニ而路え々ニ此所ニ陣ヘ路も銃丸ヲ打尽し討死せる有之由
近寄る之後ニ立ハ誤ニ寄て我を止めて君ハ思当さる報恩之致ス
為ニ主を以大砲二門金千両を総督府ニ献上ニテ帰ニ付之ト申ス
京都へ入京致候由ニ御座候

一 北陸道 勅使中山殿ニ而参陣致 四辻と申ハ 先達而相済候ハ明ケ方代官 勅使ハ先代治ヨリ
今年ハ出立ハ騒擾人今尚未分候も張選ヲ日ニ来道候へ倒ニ相成しトニテ何事分し命之出府討
山ニ致ヲ 東京ヘ之中程ニ出兵ハ行ハ此費用至候千人計車台之ヲ如仕候九八四

一 今夜ニ御使君夫人支那之事件ハ宿也ヲ立ト申 勅使御ニ而逗留有之トモ云

以急札得貴意候 御勅使様當十五日高田表御出立明十九日御発
輿別紙 御依頼之通今十八日申刻ニ 御出府可有之候中ニ而御先觸
ハ中山道ヘ通ル事近ヨリ早ニ而参着大路の急度若急差急度可被下候

三月十八日酉中刻 高田宿
金子十兵衛

柳ヶ瀬
中村…の様

副

又日本木宿問屋ニ付田宿ニ急速相成候様相頼下候 御勅使ニ
肥州様御関係関山間治 若州御手分ニ 二俣田切間治ニ相成
右之通急使申来ヲ申上候 以上
御出役急速ニ 御出役之様度候様申上候ニ余も萬端之都合宜敷様ニ願

右以上

六月十九日巳中刻

前田松之助様

右御以書付急速御飛脚ニ而申上候

水田郡手札宿役人共申上候　北陸道　御勅使様儀、當宿御宿仕、

来成ル　御先鋒去今十九日之両表　御通　関山宿　御泊之由中郡役人

柳ヶ瀬宿ゟ急飛ニ而相原宿ゟ為知来候ニ付不取敢此段申上候

六月廿一日

水田郡
手形宿
年寄
松右衛門

六月十九日

松代
御領家
御役家

△四ヶ所　宿
口　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　

二ヶ田　四り十一丁

五り廿九丁
△二本木　御昼△

松崎

五り十六丁
口関山　御泊　勅使十九日

一り半

三り廿九丁
口二俣口

田切

二り

口野尻　勅使御昼
五り十二丁

三り廿九丁
古間△　四ッ谷御昼

二り

二

口宣札　御泊

勅使　廿日

廿一日　善光寺　御泊

廿二日　坂城　御泊

一　三月廿一日北陸道通行事ニ付テ観ル人ノ語ル所ノ一左ニ之ヲ列小銃六隊一隊
各廿四人（ハ、伍長ト有ト云　ハ十二半小隊 ヒキナリ）士隊ハミニエール銃ヲ給　卒隊ハゲヤール銃（銃鎗）
ヲ携ヘ一隊士一隊ト交行シ士隊ノ多ク少ク卒隊共レ○西洋ノ装束ヲ
士ハ筒袖ノ衣服ニ陣羽織着経ル陣笠塗ノ紗代ハ黒ク不ニ縁
卒ハ、色一様ノ法被着ル陣笠　黒羽織着ル
物頭四人何レモ騎馬ニ陣羽織着陣羽織ニ騎馬乗ル烏帽子細ク冠リ被ル手綱
也ト大ニ宜ク頭髪之者モ不見
隊長酒井直江（二十七八ト見）馬上ニ陣羽織同小袴着ル若干ノ陣笠手配之様
ノ棒馬印ヽ若干曼ヲ穂　馬脇侍八人（三ニハ持チ者）馬後ニ従フ利銃ヲ荷ヒ火縄ヲ提ケ
（法被ニ六尺付ル　十方延）法被ニ見ル者数名　馬印ハ旗一面其ノ捲キテ持ツ太鼓ニ
持入太鼓一面　螺一口

露行致急答行りる花々
大砲一門解放為車に乗る者々
旗一面一幅丈ケ四尺計ニ其地紺ニ黒く君々
錦章ハ肩ニ附白無地ニ深紅色と墨之章ハ腕ニ附

一 兵勢ハ行列を不正乱行之致不一数ニ其中ニ兵隊之鉄砲を銃ハ肩ニ当て
ミニール銃にて 錦章ハ白布ニ赤丸ニ西洋ニ一切ニ附なり
拙者之人体ハ右ニ和紅織之袴長毛を頭後ニ長く垂らし肩迄垂れ下り余人者る
初めの兵ら隊長の笠ハスッポウ笠と名る笠なし
隊長 スッポウハ長毛織白黒横大縞の陣羽織着用ニ羊羽毛を陣
之し四十歳位の人にて附添四人長ニ騎馬ニ行く兵士ハ乗馬一匹にて来る

大砲方兵士ニ近く答行ニ致し隊ニ十六七歳又ハ
大ふり小筒ニ罷る銃行之故不相
五十人余数二十才より三十才位ニ見え候ニ程よく下る
陣羽織ハ浅葱多く深紅ハ少く黒羽織ハ衣ハ紫多く納も又二人
帽子の首袖に至て

一 錦ニ当時ニ其名連隊の旗の如くなる革四ツて平なる旗足ニ一の旗立
此者ハ紫紅紺ニ色黒く結もつり尽ハ三ツ又ハ十六利土之の人なし無之
し様なりギヤンキリハ不見

一 宿割の士九人同く陣羽織ニて笠ハ紫る金紋るゝ平ら無ハ柳コリ二三ツ附ヶ結
洋人共ニ手代之候也

一 花物ハ明治前るる三四人来る所と宿屋二人ヵ其内の本陣ニ罷在候也
附馬なし

一 先陣ハ多代屋頼朝卿ニ定メ和田ヲ大将トシテ四年目ノ頃ニ書
かけりし□上勢多代隠ルトモ

一 義経ハ[illegible]ハ[illegible]等ニ[illegible]ヲ[illegible]下押セシハ古事ニ[illegible]候[illegible]
ニ候列[illegible]集メ[illegible]従テ近[illegible]人数ニ
残列ニ入[illegible]ハ[illegible]

一 或[illegible]先手[illegible]大将[illegible]云[illegible]
[illegible]多代[illegible]故[illegible]
[illegible]八人ハ[illegible]
[illegible]行テ今夜[illegible]
[illegible]不紀行軍[illegible]

一 [illegible]道ハ四[illegible]大雪[illegible]

一 [illegible]ノ勢[illegible]寺[illegible]寒故トモ云一説ニハ[illegible]多勢[illegible]
人数[illegible]一人[illegible]ト云[illegible]ト云

一 肥前[illegible]中軍ハ肥前[illegible]勢ノ
[illegible]年二十ト唱ヘ[illegible]十二[illegible]

一 [illegible]二日観人依 勅使高倉王信敏 永禄 赤地錦直垂 副使四條大夫敏 [illegible]
[illegible]錦赤白旗二流 [illegible]馬十二三匹 肥前[illegible]勢従之其[illegible]
[illegible]人数ハ三[illegible]一[illegible]多代屋[illegible]云

一 [illegible]ハ[illegible]二[illegible]千代[illegible]之 [illegible]小笠原[illegible]

一 肥前[illegible]之[illegible]云

(二)戊辰三月廿二日於松本宿

今般御通行ニ付御趣意之大義ニ被思召依テ目録之通リ被下置候
候也

三月

會議所ニ於テ　津田山三郎口達

此度ハ御所ニ而御随従被成　御両卿様ニも御満足ニ被思召候目録ヲ以被下
置候事ニ候得共猶見分之上猶御目見之上ニテ一同御礼可被仰付
候様申聞

一　内
渡辺左太夫
関口守衛

北陸道督府
執事

(三)北陸道鎮撫御達書

覚

一　今般御通行筋并御滞在所ニ於テ条々
一　御難行筋道直シ盛砂置等一切無用之事
一　御泊筋並橋伐掃枝打等無用之事
　但白無地幟等幕之類ハ猶更ニ致させ候而通行不苦事
一　村々市中在々辻固目隠等一切無用之事
　但し墓所仕置場等目隠し之事
一　御滞在中其所ニ近在之者鳴物停止等無用之事
一　田畑家業止メ等堅無用之事
一　御通行筋雑人拝見不苦候事

下札
右書付之通相違無之者也

一 御休泊所々ニ而倉廻ヶ之諸買茶ニ唱品書之義先出所ヨリ
右ニ付ス 何出ル所局所中在々ニ不陣旅所ニ而在之候ニ付

三月　　北陸道督府
　　　　執事

御休泊所
　御役人中

(二四) 右総督府官吏

越前 参与 酒井十之進（此人小頭ナリ）

参謀 小笠原弥太郎

参謀局
津田山三郎
参謀 小林某吉

会議局
一 小西直記（此之人本陣之儀下陣ニテ）
一 山本帯刀

会計局
一 宇部彦助
一 栗枝岩太郎

近侍（是直臣ノ由）
宇和島藩 一 宮部六三郎
長谷部 一 柳沢壮次郎

親兵
　五十人

金穀局
御賄方諸事支配 阪本貞二郎

富割
肥前 御待役 一 三田治次郎
薩藩 一 吉田瀧太郎
河田 一 高木伍左衛門

(二五)

北陸道鎮撫使御行列

戊辰三月廿一日四ツ時頃ヨリ丹波島驛ニ於テ一所ニ観之略記

一 薩州様御人数

宿方御先払　當仝

大鼓　不予　二人

小銃　多勢

白鉢巻 紺立ツ服 スツポウ 絡々衣フラニケツ
トラ衣タルモ多シ

白綸紋縮

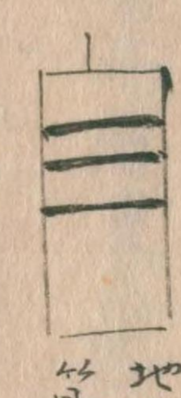
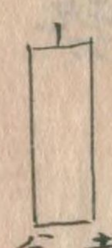
大鼓　二人

小銃　同形　多勢

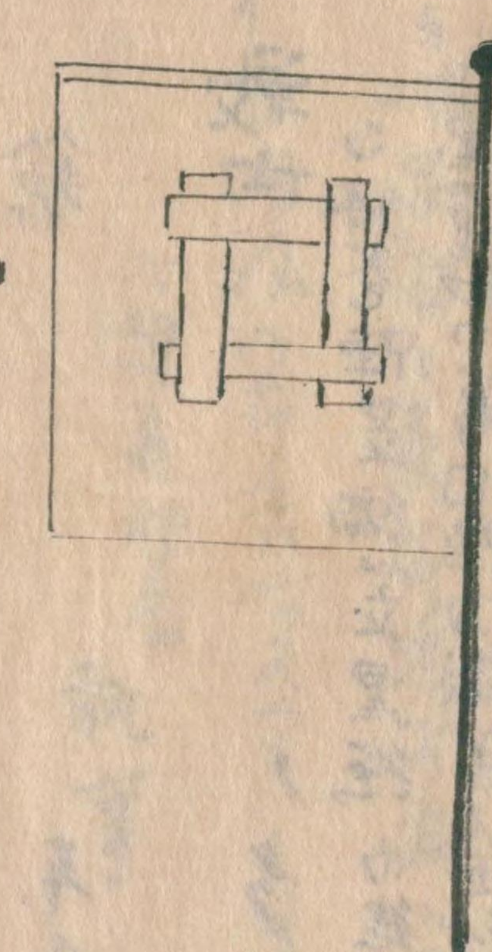
物頭　歩行　七人
黒ミニケン笠 黒羅紗下衣 黒陣羽織 腰ヨリ下継ノ大山道継交セ 緋茶綴子袴 水

鎗　七本

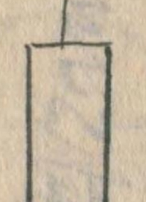
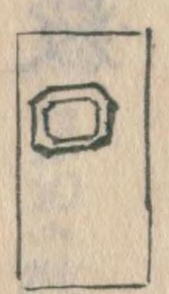
戦士
白鉢巻 陣笠 編笠 黒絵 白熊等之兜モアリ　多勢
黒羅紗下着 同陣羽織等 金紋ニテ 襟色
々十銘柄 行列不同

鎗 四十本
大銃 釣荷
臺車 同
玉薬 数荷
右袖印

地白 筋黒

赤地 金襴

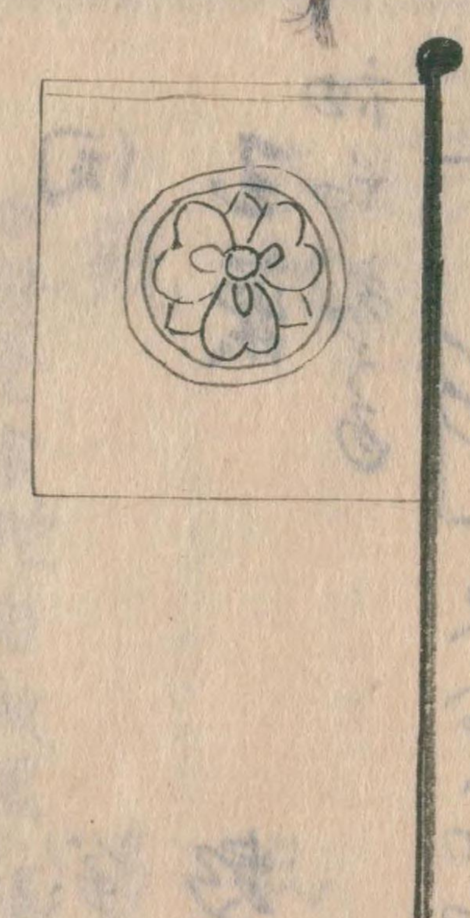
一 若狭様御人数
大皷 四人
小銃 多勢
白鉢巻赤八角蛇白紋黒小陣笠 黒羽織
紗下衣 フランケツトラ衣 大小二刀


小銃 同断 多勢
戦士
白鉢巻金紋陣笠縮笠陣羽織襠等
色々大小二刀 多勢

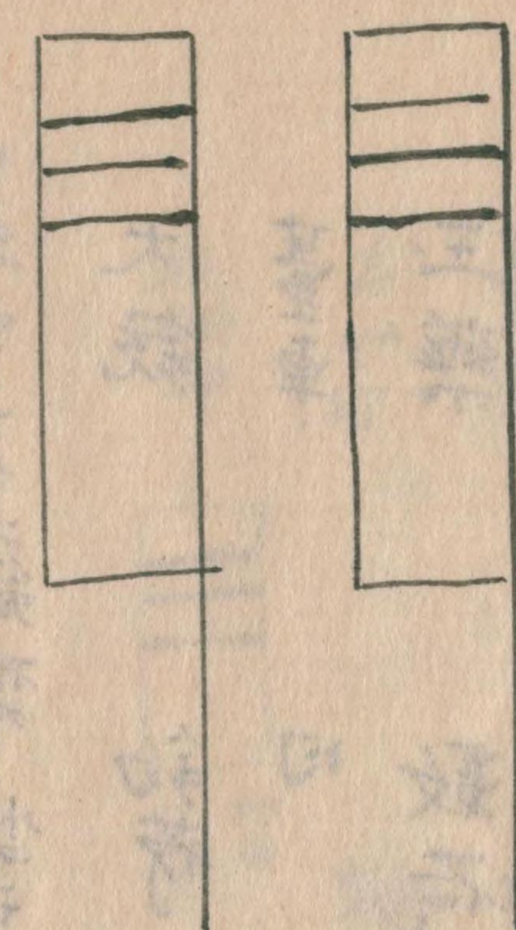
具足櫃 一荷
酒井直衛 騎馬
金紋黒陣笠 黒羽織紗下衣 黒羽織
緋縮緬襠

鎗 廿本
和 陣太鼓 不知 人員
貝 五ツ入 同
小銃 多勢
戦士
同家 大小二刀小銃 皆携 水呑モアリ 多勢
大銃 釣荷
臺車 同
玉薬 数荷

赤地 金襴

紋黒 地白

一 酒井左京亮様御人数


太鼓 不知 五人
小銃
白鉢巻黒下着フランケツトラ衣大小二刀 廿勢
物頭
金紋黒陣笠萠黄陣羽織黒下衣縮袴 五人
和 陣太鼓 不知 人員
鎗 五本
戦士
陣笠縞羽織袴等色々大小二刀小銃携 廿勢

一 藝州様御人数
神印 茶之通



大鼓 壱人

小銃 多勢
白鉢巻陣笠縞黒下衣フランケットを
衣ニ多し但し大小二刀

白地緋幟半
捲付お系
紋不知

小銃 口上 多勢

黒羅紗トッパイ黒羅紗下衣陣羽織黒熊毛
腰ヨリ下豹猪毛 袴茶糸錦 西洋沓 壱人

槍 壱本

小銃 口和 多勢

大銃 二車

同 釣荷

玉薬 数荷

神印茶之通

夫人足初印め図

一 同十二日四ッ時頃より丹波島駅御通行御行列

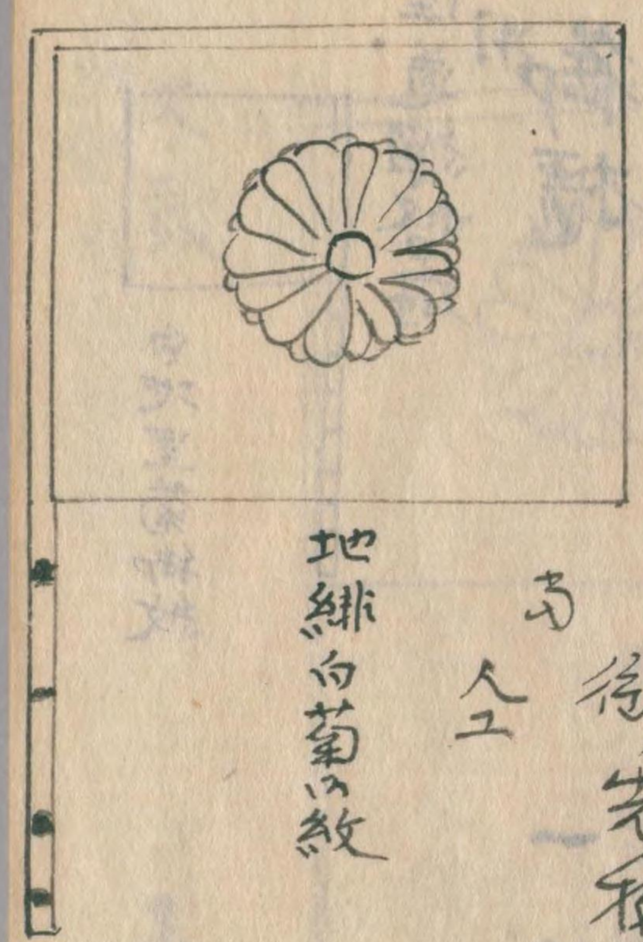
一 肥州様御人数

小銃 壱隊
白鉢巻黒下衣大小二刀

騎馬 諸国練士百騎 壱騎
紐三鱗金紋黒陣笠 黒下衣黒羅紗 沓
西洋馬具

小銃 口和 二隊

御先手 南人足



地緋白菊ノ紋

力士

大鼓 弐人

小銃 多勢
白鉢巻金蛇白紋黒小陣笠黒羅紗下
衣大小二刀二行

貝 二人

小銃 多勢
口上二行

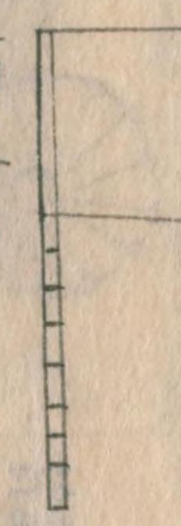
白地黒菊御紋

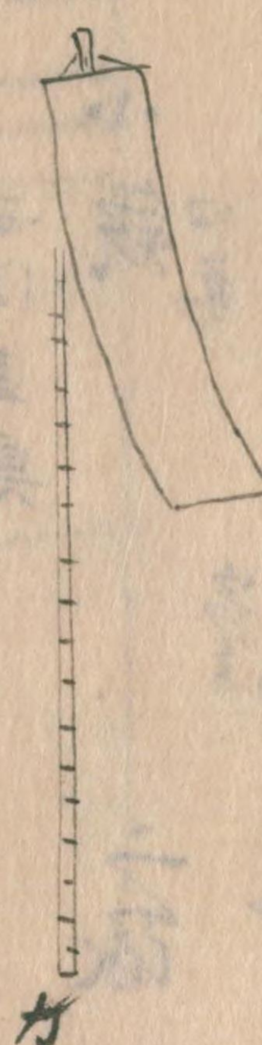
力士

緋地金菊御紋

力士

一 御旗 北陸道總督府 御用





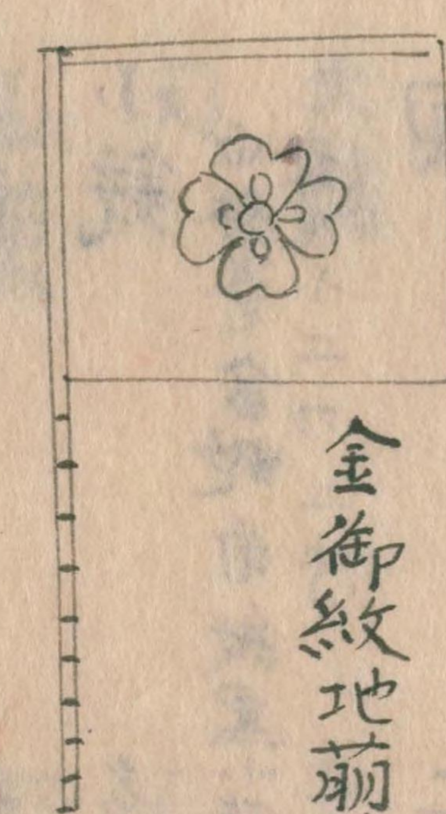
一 荷

戰士
白鉢巻金紋陣笠縞笠黒羅紗下衣
同陣羽織襠色々大小二刀小銃携
多勢
タツ多く二行

一 御勅使四條大夫様 或云表白裏金陣笠
黒御建烏帽子金茶色紫菊模様ノ錦
御直垂同御襠濃紺豹皮尻鞘ノ御大刀
紫御手縄 青月毛御馬ニ召

御槍

戰士
前之通大小二刀小銃携御左右二行宛
多勢



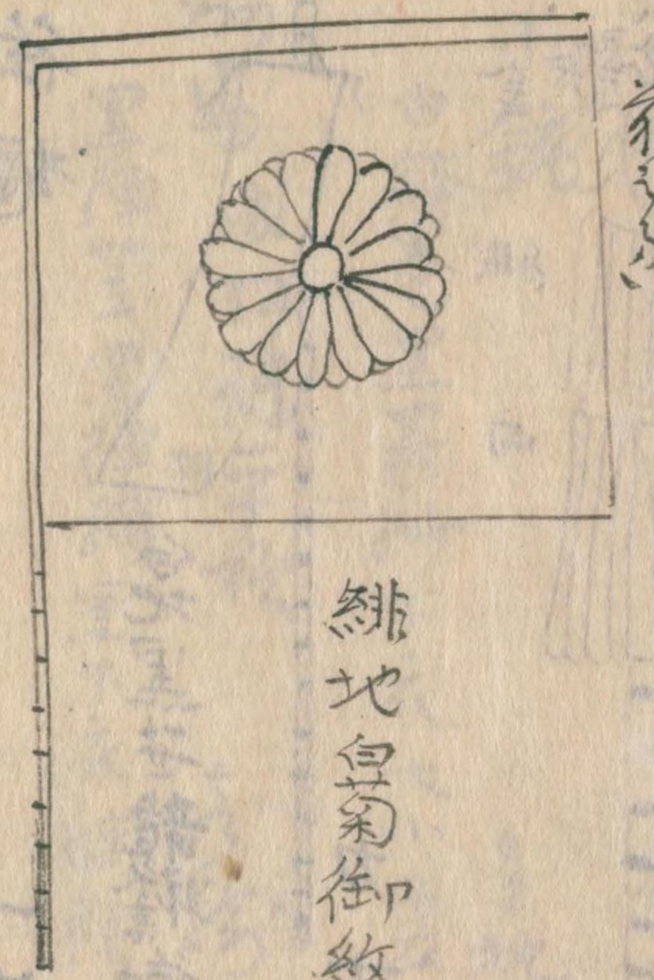
御輿

御馬 白月毛
小銃 前ニ同
二行 多勢

一 騎馬 石田熊之助様
差陰九曜紋黄色ノ陣笠黒羅紗下衣同陣
羽織緋織物襠
五騎

小銃 前之通
二行 多勢

長大旗 計四半

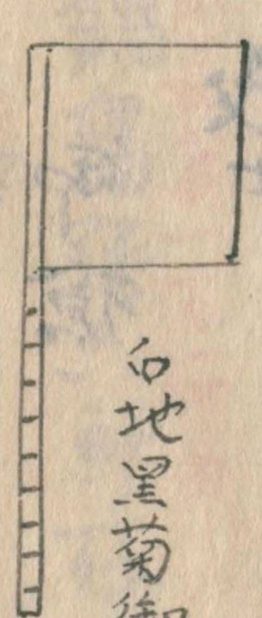


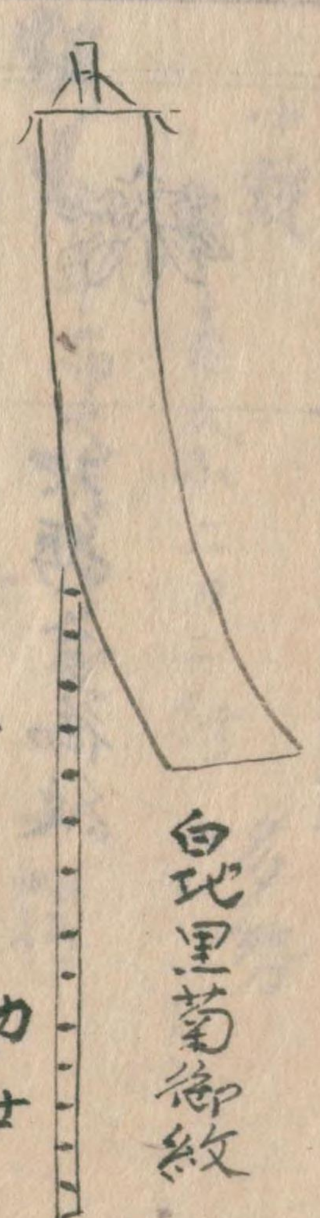
大鼓 壱人

小銃 白鉢巻金蛇ノ目小陣笠黒羅紗下衣大小二刀
二行 多勢

貝

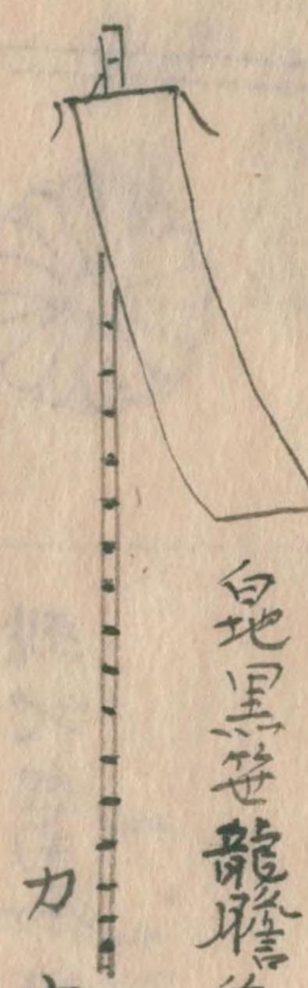
小銃 白鉢巻黒下衣大小二刀
二行 二人 多勢





一 北陸道總督府

御用 御櫃　一荷



白地黒笹龍膽御紋

力士

金

緋

同

力士

戰士　白鉢巻 金紋陣笠 縮笠 黒下衣 黒陣羽織 襠色々 大小二刀 小銃 担 クヽタヽ 二行　多勢

一 御勅使高倉三位様

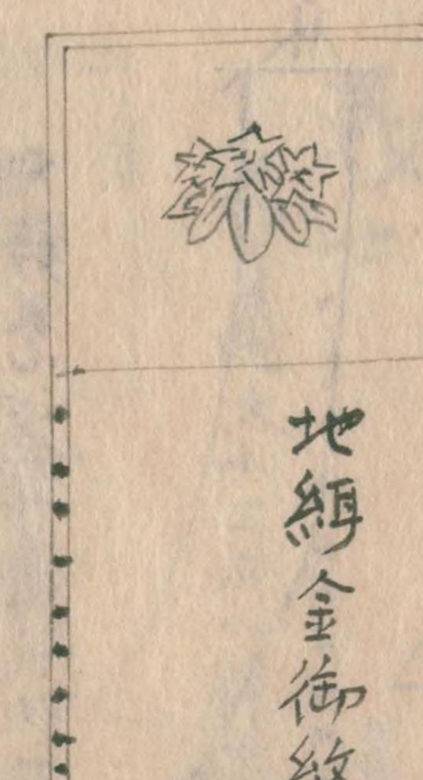
金笹龍膽御紋 ミニゲン笠 藤色紋付羽織

御直垂 同御袴 濃 紛 〔?〕之御太刀

紫手縄 栗毛御馬

御槍

戰士　前之通 大小二刀 小銃 担 御左右々 二行　多勢



地絹金御紋

御輿

御馬　薄黒

小銃　前之通 大小二刀 二行　多勢

一 騎馬　馬塲雄太郎殿　黒ミニゲン笠 西洋黒衣服 同馬具　壱騎

小銃　前之通 大小二刀 二行　多勢

一 男 藥方　御加藤故 衣服不知　二人

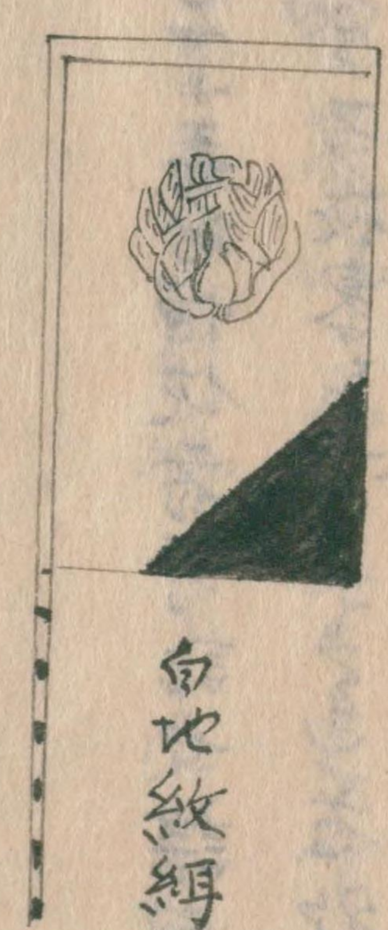
御藥箱　二荷

小銃　白鉢巻 黒羅紗下衣 大小二刀 二行　多勢

一 騎馬　成松猪平殿　黒陣笠 黒陣羽織 黒下衣 縞襠　壱騎

小銃　前之通 二行　多勢

一 鍋嶌様御人數



白地紋絹

小銃　前之通 大小二刀 二行　多勢

騎馬　千布大九郎殿　黒陣笠 黒羅紗下衣 黒陣羽織　一騎

同　永田源之丞殿　同断　壱騎

家長高一万石ノ由

鍋島孫六郎様　馬上

金抱茗荷紋 黒ミニゲン笠 黒羅紗下衣 黒陣羽織 絹茶縞襠 鉄造陣太刀 総ア アリ

一　槍　　　　　　七本
　　小銃　弐百挺　　多勢
　　大銃　　　　　　二車
　　玉薬　　　　　　一車
　　同　　　　　　　数荷
　　　已上
一　御列外ニ越後十万石高田藩ニ入ル
　　外ニ近所ヨリ連レ来ル人数引連
　　ニ入テ有リ
一　高田様ノ人数
　　竹尾藤右衛門様　長谷川唯四郎様
　　久代勘右衛門様　小銃三十七人

一　牧野様ノ人数　神戸十郎右衛門様
　　　　　　　　　小銃四人
一　内藤様ノ人数　斎藤彦三郎様　以五人
一　柳沢様ノ人数　柳沢平八様
　　　　　　　　　加藤弥右衛門様　以五人
一　堀様ノ人数　野口彦三郎様　以十人
一　溝口様ノ人数　宮本内蔵之助様　以六人
一　井伊様ノ人数　北野八郎右衛門様　以四人
　　已上
右小森村恒佐者所記也誤モ不少と云
は其役名を認めさる者歟

（二六）
一　江府ヨリ出張の官軍陣営ニ而桜田新橋の我家郎を一の旅宿ニ成シ
　　市中より私領多の資財器物衛を取上ケ諸家ニ人数を定め人足を
　　差遣シ引渡候へ共当地成丈早く一の引揚より大道路堅塞
　　ニの兵器の如し
一　沼津宿筆来り兵近辺の諸山道ニ至り関所ニ到り申ス
一　甲州ニ武田家追手ヲ陣所大名屋敷ニ所置候人数を分ケ　二千余人を差ス
　　真田信州上堂候ニ而家来を遣シ伝ト候ト御信ニ入り候
　　度々御代ニ候へ共信州より御免も不及長く御代官所ニ付申候て
　　と云ヒ御ヒ殿ニ入り候へ共又城内ニ大鼓打御殿内ニ在て書て
　　所々ニ触書申シ其人数ニ成り大手ヨリ出張致し候ニ付
　　悉く役ニ而ニ付所々所々不残相引来ル事ニ付と申出候
一　此土地ハ全ク前々敗北スル由

一 上州沼田ニ而元真田信之息女ト云者之子孫ト申者七十以上ノ老翁有之
是ハ真田信之孫ニ而浪人ニ相成候者一人其外脱走ニ而候者
ニ付沼田領ニ相成候処又ニ而近々故幕府領ニ相成候一ノ数ニ付一ノ
憐ミ有之

一 甲府ニ而今月十二日ニ而秋葉 御代参 金一枚ニ而備有之

一 少将信之ニ而十八日甲府ニ而到着ニ而数ハ皆ニ申ニ而称之

一 是ニ而甲州道中ニ而少将信之ニ而故ニ而勢ニ而所持ニ而晩支

一 所屋敷元屋敷ニ而我人数ハ独ナニ而八百七十六人余計ニ而之云

一 中山誠一郎甲府町ニ而 京ニ 仰付候ニ而無之

一 陸田ニ而所ニ而近ニ而節ニ而之節ニ而之事

一 其外ニ而 掛ケ候ニ而次第ニ而候ハ当分直候且手続ニ而人ニ而名前ニ而伝られ
ちニ而十ケ月立ニ而有之 申ニ而

㊆重ノ話

一 三月十九日急ニ落雷一ニ四時新町白銀町ニ而仰渡直ニ而出立 北口松
枝ニ而外雷鳴霰降 深瀬川七八寸一寸ニ而後ニ而近ニ而四ツ時ニ而

一 道中新関ハ皆懸ニ上田勢 番所ハ領二十門ニ而下ニ 関 左衛門五郎
知久ノ誤ナラン
劉氏ハ飯田近辺ニ而宿ニ而云ニ而ニ而伊奈小笠原氏領 牧野左京大夫
本所ニ而ニ而口留所ハ其人ニ而近ニ而四日付近辺東山
道ヲ而宿ニ而鉄札ニ而不許東行西行ニ而八不宿其ニ而支
蔵敷入 西 松平摂津守 高松
東 小笠原 小倉
左右ニ各二人一人宛ニ而出府ニ而口ニ而迄ニ而四田町ニ而
沼井ニ而通ニ而一人斬殺され一人手疵ニ而ニ而
広田家 此方ニ而候ニ而
川白 土方 彦
ニ而 勢

板橋宿誌　長州勢　大垣勢　御本陣　薩州様　先ハ廿[illegible]　板橋宿[illegible]　陣屋

庚申家　又大垣

右ハ近江ニ板橋ハ[illegible]人[illegible]ハ官軍ニ[illegible]後ニ年[illegible]之[illegible]も
御座有之

一　東山総督府ハ板橋本陣豊田宇左衛門ニ御滞陣也

一　板橋ハ第二千余戸[illegible]

一　三月廿一日夜深谷駅ヲ打毀ト云[illegible]思[illegible]人[illegible]
故ハ[illegible]故[illegible]文人[illegible]

[illegible]ノ[illegible]未[illegible]ト云ヘリ

一　十八日ハ板橋賈殺[illegible]禁[illegible]之[illegible]上[illegible]人
未[illegible]

[illegible]二[illegible]ナリ[illegible]ト云

六　甲府話　三月廿三日[illegible]

一　甲府ハ二里[illegible]　村々原田兵五ノ[illegible]者あり　桜山公[illegible]一徳公ノ文書ホを蔵し
[illegible]甲府[illegible]周旋スルニ[illegible]両[illegible]之
千表[illegible]ト云

一　[illegible]人[illegible]七[illegible]九[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]岩[illegible]保定[illegible]
[illegible]　古文書も[illegible]五両[illegible]文[illegible]ト云　[illegible]

一　甲府城本丸ハ門[illegible]郭も門[illegible]殿[illegible]
[illegible]三千人も[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 西洋製之小銃数挺ニ行大砲若干ノ弾薬ヲ具ヘ着テ吉宮陸繋寺（火保院ニ多ク蔵ス中ニ有之ト云）
配置当ルモ大砲若干（一門）但宗ハ井ニ様ヘ之者ヘ勝沼ヲ守ル大砲二門ヲ工ル人（彼ハ所備者之）
為我ニ寄手ノ者ノ負ケハ大砲ハ何様田ヘ出多者余我大砲運転之覚悟
候事ナリシト云（大小銃我兵寺領ニテ河原揃川勢ハ頗ル被ナリテ一ノ覚）

一 勝沼ノ戦ニ生捕ナル人諭ヲ言スル山小当意ナシ代異儀ニテ成郡ノ儀ノ成郡之負ケタニ乞
強致不肯ト云ヘ不改遂ニ降ル之折国ス成郡白洲ヘ往兄田市ノ召人ヘ何ヘ断実百
テ当軍ヘ忠節ダテヘ旅役ヘ善許テ捕ハル者兵ノ者ヲ各当一騎ス行人ヲ開放
当免放ナルヘシヨリ残ル人今当因為ニ田葉田降望之（之郡書紀録ル様ナリ）一所陳ハ
出府之上甲城ニ送ル近ク之ノ　一何ヘニ何様近ヒ茶頃ヘ礼ヲ受ケ智等ニ
命ヘ候ヘこの為ニ之折国ハ会ス者将ク兵ヘ路程近ク泊ヘ侍ル在宮ノ
ヲ達直行モ不信甲城ヲ以テ近ス兵ノ由テ下ヲ術ノ人ナル来宮ヘ示シ

実ニ実ナル思案ヲ生捕ナル之懐中ニ持タス軍令状ハ表ハ男子水戸侍ニ居ルニノ
入国ス有ス人ヲモシモノヲ云ト云ヘ紙モ墨モ誠ニ下云大宮ヲ申シ許ス之
四ノ日之二ヘ候河評ヘ引渡シ兄ヘ如キト云ニ赤ク以保シテ白状ヲ頼ム賀等ニ之出
トモ未ダ云ハ以保ス也ト云不居ナシ斯人ニ教テ我ニ辛シモ云ニ候

一 生捕ヘ香評人一人新政政府ノ見合ニ成ト云人ニ申ス是ハ之人以保被
多分モ計シ付之ヘ我等戦ニ気ナトナリ云ハ之ノ兵ノ之ヲ和ハ云ヘ
成ル程成都ニ従ヒ進リ行ヘ人ニ裏ヘサシ宮ニ探リ回ハ去テ候ちの
ニ候衛モ名ク之ヤ来リ宮陣ヘ並セモメテ直ニ斬リ好坐シ免ル様
近キトナシテ少シ返テニ人ナナトニ久シクモ輸出手無之人ニ之ト

一 河評侯三月十三日着有之君侯十七歳之由常ニ影定之如勢ニ乞出羊人之由馬服
ニ従キ如クノ富ニ納ダレブクロニテ刀ヲ鉤下ケ矢耳ニ銃ヲ不便ナル故一際ニ目立

御田ニ於テ□□見□□テ□□例□□□ 中一任ノ年数 一人ニ定老年寄

一 □□神ハ神嗣職ニモ是ハ□□宮居□□□ニ候□□□□□□

八年□□□□□□□ニ□□ト□□□□□□□ノ□□ニ□□□□□

□□□□人ハ大夫也

一 沼津住ハ組頭某ニ宅ヲ本陣ト定テ□□□度柳原殿下□□□又□□□□□□□

一 甲斎□中□□日□□者□□□□□□ナリシ二□今□□□□□□□多シ沼津

八年□□□□□□□□□□□在テ使フナリ□□□□□□□□□□□□□シテ

一 箱根峠迄ハ柳原殿兵□□□□□□ニ之

一 大□□人□□□□□□□□□沼津ノ私□□□□□又□□□□田□

□□□□□□□□□□沼津ノ私ハ将来□□□□柳原

□□□□□□□□□□□□□山中□□□□□□□□□□□

請ハ往□□□□ノ日□作□□□□□行□ハ□□□□□□□□□□□

一 □中巡□ハ沼津□□□三□□□□□□□□□□□

一夜□使□ハ保□□□□□□□□□□□□□□□

一 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□一□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□二十七

詞□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□

一 柳原殿甲府□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□大□□

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

ニテ申之ト云 思ヒ大砲五門 金三万金ニテ 借ト云ヲ 時ニ 先錦恐賀府ニ 於テ
テ金十万金ヲ取リタト云 此名数 條ヲ 移多ニテ 存行 其ヨリ 其乾坪宮書院

一 若将軍 謀慎中ト云トモ 於テ 修行の為ニ 有ト 申ヲ諸所ニ 随テ 手紀洛連をし
諸所ニハ 其處ニテ 千人 口 進テ 大垣人ノ 信ニ 家ハ 兵庫迄ノ 船ハ
行ト 見 ... 布 ト云 ... 前もあり

一 京師ニ上 名人 条 朝ハ 途中 通兵 大ニ 難儀セルハ 同州人之ト云

一 甲府 府後ト云ニ 宮 二月十三日 直ニ引 福 ... 宮松 ... 節 ... 故云

一 牧良生甲府ヲ討ツ 論ヲ 云 戦 始 銃ヲ 持テ 又 槍ヲ 持 各 得 面 類 兵
度ヲ 也 ... 鎌 錫 ... 今 ... 角 ... 彼 數
口 一ロ九分云 ... ブクロを作リ 洗 始メ 洋装 ... 一ノ為ハ 西洋 利
ト云 若 夏 軍 一 ... 能 発 唯 トシテ 其 議 ... 所 テ 代リ 洗 四
為ハ 何方ハ 文 名 力 未 新人 不 還ト云

コア 実 獨 断 説 一の 威 其 宮 の 意 兵 制 ハ 始 置 西洋 兵 制 法 ニ 據 ニ 重 兵 戦 シ 正 格
銃 戦 を 云トスルカ 槍 戦 を 上 目トスル 守 所 重 槍ヲ 在テ 洗 ハ 巡ス 又 山 野 ハ 銃 騎 砲 て
利 減 シテ 白 色 兵 ハ 刀 槍 白 刃 ノ 経 絵 ニ 利 あり 蹄 戦 ハ 半 戚 ふ の 手 種 能 知 ル 理 云
余 ら 皆 不 知 故 ニ 多 矣 戻 ヲ 機 戦 専 ニ メ 正 野 戦 帰 ニ 且 不 深 士 卒 空 宴
往 服 銃 利 有 ル ト 近 シト 云 [illegible] 長 槍 化 洗 す を ふ 備 一 枚 槍 ヲ 三 葉 ニ メ 丁 可
ナラン 字 将 洋 装 ニ 粉 スレハ 此 忽 ニ 銃 ハ 一 の 長 ニ 此 ス 宮 和 宮 納 ハ 宮 ニ
使 アリ 故 ニ 洗 卒 皆 用 之 ハ 宜 ヤ 殿 引 ト 將 兵 ハ 長 途 山 行 殊 ニ 此 塗 雨 雪
皆 殿 引 ニ 利 アリ 公 此 の 義 ハ 将 在 甲 数 日 ニ 洗 卒 ニ 常 装 新 人 ハ 令 ス 一 の 度 ト
云 一 ト モ 手 末 千 有 新 面 ニ 卒 者 衣 裳 を 与 ヘ ... 制 ...
ハ 我 国 行 ハ 所 不 得 ヤ 是 未 戒 ヲ 軽 紀 ニ 従 を 為 ... 不 足 行 矣

一 甲府 ニ 一 萬 ... 此 後 甲 州 ... 何 国 ... 年 ... 二 百 人 ... 國 ...

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

此度武州上州ニ於テ悪徒共致暴行候ニ付別紙之通東山道御総督府ゟ御達有之候ニ付右写奉入御覧候

別紙
勅命之旨申觸江兵威鎮撫之仕旨 但年貢諸運上総テ
租税向之儀ハ是迄之通相定候上ハ決而可申事ニ候 鎮
撫民政ニ心用致民之業ヲ安シ相應之致方ニ改更之
作此ト問 右等相達候也
辰三月　東山道 総督府 執事
奥田信濃守殿
戸田丹波守殿
蒔田信賀守殿
諏訪因幡守殿
松平□□守殿
大舘□□守殿
内藤駿河守殿
牧野遠江守殿
右之字藏中

大舘ト云ハ誤ニ而実ハ大給之分家ニ而有ル大給ノ書誤ト存候

○鈴木□□

(三十)
一 三月廿五日牧野遠江守殿江御沙汰有之候 仙台□□□□長ク□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
一 先般上京之節□□□□□□□□□□□□□□□□□□
ヲ神威ト称シ御親征ニ□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□ト云
一 松田ハ書述ヲ上ケ英仏□□□□□□□□□□□□□□
入カヽハ仏人ニ□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□リシト云
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□テ入□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□又

此度武州上州下野ニ於テ
悪徒共致暴行候ニ付
右別紙之通於諸藩
宮東山道御総督府
御達有之
御達之旨ニ候得者
兼而御沙汰之通相心得可申候事

小間
勅命之旨申鍋江兵威鎮撫之仕旨　但年貢諸運上等之
制税向之儀者是迄之通相心得上御沙汰有之迄是迄之通可為鎮
撫民政之儀用度民之業安し候様精々之致尽力可致改更詐
作此段可相達候也
辰三月　　東山道
　　　　　総督府
　　　　　　執事
奥田信濃守殿　　蒔田信濃守殿
戸田丹波守殿　　諏訪因幡守殿
堀石見守殿　　　堀栄之進殿
内藤豊後守殿　　大関肥後守殿
牧野遠江守殿　　内藤弥守殿
　　　　　　　　大久保…中

○鉄山炭 …

(三十)
一 三月廿五日牧野遠江守家来ニ付仏師曾…長し候得而候事
委く候間…仏人…候…之…之伊の御名と…ニ付入候
一 先般当家之御…追而…仏田…松田…尚常…候…ニ候…比筆
ヲ御威…勝し 御親征…ニ…人陪従スヘキ…ニ…文書
二八 仏…上…之御…ナトヽ云
一 松田…上己菊仏魚日条…御…
入カツハ仏ハ…ニヤ 徳紫殿…母…此時…悦…　…説ナルヘシ 彼ハ…近
…事…尚…候…候…ナリシトヽ云
…松…人…日…
上…テ入…人…一…礼…之…出り
…北…遺…文

毎度口上書ノ記服盛服之宝之 幕庭之進之人物実之終今日
しこ迄ノメヲ醸成セシ太政官代ニ於テ政令ヲ幸ニ偏重セシ
[illegible]
後ノ悔ヲ生スル事ナシ[illegible]

[illegible]ルニ赤羽某等ト[illegible]遂ニ勤事
甚ナル勢ニ[illegible]代リテ之ヲ倒シ不知
古唐使ニ賛使[illegible]使ト来リ[illegible]
ニ於テ昇殿[illegible]ノ上ニ位シ衣裳ヲ以テ服ヲ以テ[illegible]ニ於テ昇殿ハ[illegible]
ル例ノ今度ノ儀礼[illegible]

一 此度ノ[illegible]外国人[illegible]人[illegible]
之一人[illegible]人ハ[illegible]ト云○[illegible]人三枚[illegible]一人[illegible]
一 京都ニテ錦旗ヲ[illegible]西山崎辺一方[illegible]
之通路ノ[illegible]人数三百人[illegible]
一 京都ノ大乱[illegible]放火シ[illegible]一[illegible]ト云
一 又[illegible]加[illegible]

三月晦日

一 三月廿三日[illegible]兵馬[illegible]岩倉[illegible]御[illegible]二[illegible]
[illegible]七[illegible]
[illegible]水[illegible]
[illegible]

一 西九ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]ト云

一 日本[illegible]小[illegible]
一 [illegible]
[illegible]

薩芳ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

薩賊ハ徒ニ口ヲ有テ兵ハ出ス事タルヘシ京師某等ハ益[illegible]如キ事[illegible]追ハ歟
一旦為ス益ナキ事ナリト云幕府ニテ斷シ京ヨリ代リテ之ヲ例トシ不合
彼ノ悔ヲ止メタリケル事ト云又右唐使ニ薩使清国使ハ来リ候此
ニ於テ昇殿参朝ニ上三位ノ衣冠ヲ賜ヒ服ヲ得テ如テ昇殿ハ難カルク
ル例ハ今度ニ候礼ナキナリトヤ

一 此度追申ス者共ハ長人也右人ハ[illegible]国ヨリ追テ先皇人也[illegible]人[illegible]之[illegible]追[illegible]
二一人[illegible]様ノ紀人ナリ[illegible]人ハ[illegible]ト云○[illegible]人三[illegible]翁
セラシ一人奎[illegible]カ[illegible]ト云[illegible]人[illegible]傑

一 京師ニテ錦旗ニ[illegible]ヲ西人山崎辺一[illegible]ヲ我[illegible]ニテ
之[illegible]ノ旗ヲ建テ此人数三百人[illegible]ノ[illegible]追セラレ[illegible]人[illegible]
[illegible]

一 京師ノ大乱有ヲ洛中ヲ放火シ[illegible]ハ遂行[illegible]ト云

一 又[illegible]ノ[illegible]役ハ[illegible]又[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]多ク加[illegible]ヘ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

三月晦日

一 三月廿三日　竹[illegible]兵馬[illegible]岩倉[illegible]御[illegible]上[illegible]二[illegible]
条[illegible]辺[illegible]七[illegible]上[illegible]入
[illegible]
[illegible]
或人[illegible]不一[illegible]

一 西丸ハ[illegible]兵隊[illegible]引[illegible]田安[illegible]甲[illegible]
[illegible]
或ト云　此[illegible]

一 四月十一日小[illegible]参[illegible]小[illegible]山[illegible]
[illegible]

一 [illegible]ニ[illegible]ノ関門ヲ建[illegible]

薩芳ト似[illegible]右ニ[illegible]
スル者ハ[illegible]ト云
表之関[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

武家ノ者所々ニテ追落ニ逢掠奪セラレ大小衣服ヲ奪ハレ不穏
次第ニ付国家ノ一大事ト申ス　頃日ハ諸所ノ者共ニ及ヒ兵庫ノ督附和シ
候も知らす候へ共何分ノ儀ハ是非ナク之義ニテ追々参候よし　朝廷之御
上ノ一ノ儀ニ付長州ノ追討　公家方之内ニハ武家ニ心寄セテ九門近辺ニ控居
候者有之ハ相成間敷ト申ス事ニ付相談ニ及フ　御所ハ守護
川ノ大臣ハ何レニモ参ル事ハ無之趣ニ御座候よし

一　九ノ内諸藩ノ兵引揚ノ儀近々ニ相成知恩院近辺ニ屯集居
川ニテ引揚ノ儀ニ付其旨申出候も手間取ニ付市中ニ屯集致居候
一　田原村外十余ケ所ノ内七ケ所ハ焼払ニ相成候趣三日二日ハ尚ホ一村焼亡
致候由ニテ周辺ヨリ御注進ニ付
一　去ル十九日頃山崎宮・天王山ヨリ山崎山ヘ付火ニテ一般ニ焼失ト申候

一　八幡宮ハ長州勢ノ陣所ニ相成候処官兵ヨリ攻撃ニ及ヒ長州勢ハ敗走致
候趣也　右ニ付長州勢ノ内ニハ河内ヘ落行候者も有之ト申候　大砲
等ハ皆々打捨テ逃去候由ニ付官軍ハ之ヲ分捕致シ候趣伏見ニ
而も同様ニ有之候よし　○竹花兵馬新撰組通行ノ節ニ相成候者ハ不残之ニ候ト云
但シ会津ハ小三交代ニテ八幡ヨリ引揚ノ儀ニ付五十人ツツ一日交代ノ事
一　薩州兵モ引揚候ニ付是ヨリ深川ニテ近々引取ノ由十八日夜ヨリ田舎
ニ陣取ヲ出立致シ候由ニテ関東ヘ参候
戦場ニ於テ相果候者ハ其儀ニテ追討ノ節長州勢ニ相加リ候
一　出陣致シ候ニ付新撰組ハ戦田新選組隊ニ従ヒ出張
ニ而就テハ死傷者多ク候得共何分遠方ノ事ニ付詳ナル儀ハ不相分候
敵ハ遁テ水ニ飛込ミサレタルヨシ
一　相続ノ儀ハ白昼ニ近辺ニテ討取候　二条陣屋ヘ参候由承候
退タル故其儀ハ河原辺ニ兵ヲ控ヘ召捕候者凡五十人許リ有之ニ付テ相済メ

ヲリ或暁黒ニテ押寄来リ兵器等ヲ奪取之分捕ニ致シ候処夜明ニ及ヒ候ハヽ
官軍ノ旗章見ヘ候ニ付敵ヲ止メ候細ニ官軍ハ官軍ニ候哉ト問候処
夫ヨリ會津ノ残兵ヲ夜襲ヲ討取シ并ニ降参ニモ股兵ヲ捕ヘ候テ押寄候
セシニ此我等ヲ追ヒテ来リ候ニ付銃丸ヲ発シ候ヘ共兄ヲ討
取申候所ニ当テ割腹自殺シ兄ヲ討取候 首級ヲ挙ケ神トナル五大
砲二門金ヲ取リテ羅ヲ倍ヘ申候 如此候ハ此銃頭ヲ殺シ候テ何銃頭ヲ殺シ 信ヲ金ヲ取リテ候テ皆候哉ト存候

一 右薩銃頭某ヲ熊谷寺ニ葬リ其式甚厳ニテ後皆銃ヲ把ル体
強兵ノ葬儀ノ如シト云 右ハ我殺シ之葬送之礼也、神道ノ礼ヲ用ヒ候ハ不知之

一 此節会津ハ薩人一所ニ殺シ長髪ヲ所々ニテ数十人殺シ候由 某承ル

一 此度奥羽ハ親王一両 親征ニ仰出 三月十一日 御発輦ハ未定ト申事也

一 北道官軍三千人越後路ニ出ル由 通行有之ニ付候、河辺ニ有之由 三月廿日行

三月廿六日

㊂ 名古屋話 河大吏ニ随従ノ人ヨリ伝承

一 名古屋ニ至リ今度勤王隊引率ノ人々十人許出張ス 或ハ其有志
北越又ハ新潟十人許リ之報 有之由ト云 松本者庵ハ総而メ右文筆ヲ以此度 ニ候ヘ共壽髪今毛抜黒髪也云

一 尾州ハ先年来和平ニテ婦人ハ居宅ヲ洗ヒ是ヲ掌 執務有之候
て近頃迄ハ無之我等ハ先年来ニ不都合ニ存候 一統ニ困窮致候由

一 尾州ハ後ニ同断之由人別ノ上ノ儀ハ不存知候ニ付聞不申

一 領中ニテ常ニ兵ヲ用ヒ有之候ハヽ是ニ応シ候テ酒ヲ飲テ遊ヒ候事之

一 河大吏ハ兵庫表御用ニテ御帰府ト申事ヲ承候由ニ御座候ト申事也
由ニ候ト申ストン

一 尾州侯ハ此度御上京之折柄之我等ノ如ク御供ニ相成リ候者ノ事ニ候
但ハ名目ハ一人ニテ来リ申候ニテ中納言様御同行ニテ御座候由ト云

一 君侯自身ニテ乗ルモ有リ内川越侯 松平周防守 近臣ノモ乗リ[illegible]幕ヲ
着シ[illegible]大不義ナリ幕ヲ[illegible]候也[illegible]謹慎[illegible]
[illegible]此侯ノ時出キレシヤ大不思ハ二月下旬[illegible]ノ故ヤ
[illegible]ハ[illegible]

一 三月上旬ニ其ト[illegible]尾州ヨリ五六里隔タル一小藩 衣内藤守 荊屋土井守 重役唯二人有之処二人
佐幕一人勤王ニテ国論不決勤王論ニ十七士重臣下城ニ付テ佐幕家ノ一新
ト待居タル二十六日ノ月入タル後退キ出ルヲ待テ一[illegible]故閣老訴テ
勤王党ニ候三本松ニ殺害シ直ニ尾州ヘ来リテ許テ[illegible]テ佐
ヨリ其勇侯ヨリ一騎モ出ス[illegible]云 尾侯ハ[illegible]勤王ヲ知ラスト[illegible]
佐幕ニ[illegible]尾侯ニ[illegible]得ラレ[illegible]直ニ[illegible]其佐幕者ヲ[illegible]云三士
[illegible]一人ハ[illegible]佐幕二人ハ首ヲ[illegible]鎮台ニ献シ余ニ忠心
勤王ニ[illegible]表[illegible]ト云
西山ニテ[illegible]一ノ[illegible]

一 尾州ハ未タ[illegible]稼[illegible]有テ今ア[illegible]兵ニモ[illegible]
[illegible]鎮[illegible]家中[illegible]伺[illegible]大[illegible]小銃[illegible]云
[illegible]一[illegible]新ハ道[illegible]頼[illegible]幕[illegible]職ヲ[illegible]
[illegible]貴[illegible]多[illegible]貴ト云ナリ

一 [illegible]町ト云ヤ両側ニ[illegible]手[illegible]今ノ[illegible]時ニ世ニ不似ト云

一 市中ノ[illegible]始メ[illegible]今ニ騒乱戦争[illegible]別世界ニ[illegible]

一 男女ニ[illegible]京橋ニ似[illegible]而[illegible]
[illegible]三絃[illegible]者[illegible]

一 商売ニ[illegible]言[illegible]江戸ニ故衣店[illegible]一入[illegible]不[illegible]云
[illegible]風[illegible]旧幕吏ニ[illegible]一新更始ニ[illegible]不似[illegible]
ハ[illegible]人ニ請[illegible]者[illegible]行[illegible]

一 早春停テ十ヶ年ヲ経テ今ニ至ル迄作業ハ託シテ旧怨ヲ報ユルナリ 三四年前雲助ノ類ナリヤ

一 当時唯先生ト称スル鷲津某 九歳ニテ[illegible]近時ニ事ヲ謀ル者ナリ 就テ渡行者ハ成瀬ナリ 此ハ年前江戸ノ和尚[illegible]二字ハ[illegible]一[illegible]

一 [illegible]ニテ[illegible]物価日々ニ進テ下落ニ方今一升酒銭二百五十文ト云

一 河[illegible]一町鯉二尾價銀八匁 六銭ハ十三両二分 此行[illegible]ト云

一 河[illegible]外行従士八人ヲ倶シテ[illegible]世ノ人ハ[illegible]諸侯の如し

一 [illegible]月[illegible]京田[illegible]

一 [illegible]京ニ一万人ヲ率ヘ又大砲隊[illegible]ト云

一 [illegible]大丈士[illegible]河氏ハ銀十枚[illegible]ト云[illegible]

一 河氏ハ納言公ノ[illegible]観ル[illegible]

[illegible]

一 或人ニ又或[illegible]面白キ[illegible]二千[illegible]不[illegible]アリ[illegible]

一 [illegible]ト云[illegible]真

一 [illegible]無疑[illegible]

佩刀ヲ[illegible]細身の[illegible]

一二[illegible]白[illegible]の大[illegible]抜[illegible]又某[illegible]

[illegible]

一 [illegible]人馬[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』 請求記号 836-3
ガラス使用

一 上田侯ハ御旗本ニて只一様ニ陣羽織役人徒歩ニて行候よし

一 雨山ハ其時ハ縦かる上下或人ハ[illegible]又或人ハ着之よし云

旨ニ而御老京[illegible]ニハ上下洋装ニて羽織ニて筒細袴[illegible]

多くハ[illegible]陣羽織[illegible]軍装ニ而刀ニ而番傘[illegible]

[illegible]文之如く[illegible]帰路ハ[illegible]商の体之由云

一 當所ニ而又小屋を売之[illegible]

[illegible]今時一[illegible]矢[illegible]云[illegible]

一 松本ニハ[illegible]評頃ニ而[illegible]

[illegible]町家ハ[illegible]

一 [illegible]上下刀屋を[illegible]一向[illegible]

[illegible]

右ニ付[illegible]所歴之

三

武上州之形勢見聞之儀ニ付大略左ニ申上候

一 御総督岩倉殿三月九日深谷宿御泊之処同夜四ツ時頃御本陣替ニ而御出即時ニ

熊谷驛ニ御越ニ相成候

一 右之趣ニて熊谷在八木沢田ニて間ニ而集致居候浮浪共既ニ御総督之御陣を可襲

様子を同様之者為知候を見ニ渠之備ある手を討ハ必定利あらんと速ニ出兵致候

処薩長合而五百人 不意之事故浮浪之徒備も不立忽ち敗走散乱いたし官軍十分

之勝利ニ而分捕ハ大砲二門小銃二百八十挺程ニ而大小銃之弾薬入長持并箱凡四五十

程も有之討取首級八十余とある官軍之討死ハ何分不詳候切支丹役体之

討死之死骸一見仕候処大凡洋法ニ仕寄候様ニ而不残

切九日戦争ハ官軍十分勝利を得候ヘ共残党共近辺ニ潜伏いたし居候ニ疑ひ右ニ付人ニ兵粮一

二里隔リ羽生ニテ陣屋有之（此陣屋ハ当時陣代も無之明屋ニ成居候由公辺不一昨年徳川氏新造ニテ事右八十日夜半ニ焼失ス）
行違ニ候有てハ子細も一件思慮も伏幕之者ニ而ハ総督如何ニ不審之廉ニ依テ
有之候紛問有之時ニ付テハ速ニ伏幕ニ相譯立候哉ニ付而総督ハ秘々ニ而詠
解ニ而探索の故何卒其実効をもらさず其とも又古狩党を千兵一刻ニテ
命令も有之ニ依て安部羽田某四郎ハ兵卒両五千人程引連忍城を発し
罷考ニ羽生ニて安否彼陣屋を遊伏条疑と心得十日右人数ニ而神
寄ス知らん事不見候者申ニ付右陣屋ハ入備をこ立テ知同夜何て兵を
不知陣屋を押寄の故亀四郎指揮致ス大砲打懸ケ知ル寄ノ所ニ方ニテも
田緑打返打合居ル処夜明ケテ手成寄ノ処ハ田不た見ル処ハ思ハさりき安
軍之目印ニ文安軍ヨリ見れハ思て一度之間違ハへ共甚不届狂諸依て伏幕
ニ対しても致官軍ニ発砲致ハ無稽伏幕ニして今総督府を欺く事

顕然ニ付其ハ罪を直ニ可問と五百人ニ而我等人程忍之郭中ニ即時ニ参テ
四郎ハ伏ニ相待ニ者十七人捕縛依て詰問ニ及ぶ如全苦辞閉塞之候ニ付
閉ニ而相立得兼素ゟ指揮不行届之廉ハ断而遁候之丹羽亀四郎即日切腹被
申付ハ申者ニて候ハ然ルニ而分ハ知速ニ也兵ハ総督ニ而使一日仕捨ニ付ニ候
ハ無如キ君也吾等も伏幕勤　王之論二ツニ分れ伏幕家臣ハ久川道伯ニ与
師ニ而同志両五十人も有之候て伏幕之儀候ニ而諫争ニ及ぶ得共ハ福田参ニ速飛を
先出延仕ハ程之内乱故何分出兵仕候義難相成ニ付試而金ヲ大砲二門ニ而
也而候ハ而除一隊宛ニ而出兵の君侯之進退窮り極り候子誠ニ以
ニ毒ニ事ニ而候
武上両州も隔々騒乱へ筆致不駿乱以て其本を両無く致て穏せ直し（本ノマヽ）
ニ唱ハ候子ニ而全両何分不審至極ニ被存全両姓脱胎を育養ノ致ニ案

挙ニも及ハヽ火を付打毀ハ不及ものも皆恐怖戦慄罷在候故多限ニ應し出金致
しかる理不尽ニ火を付ら不及を如斯ニ暴動ニ及ひハ人氣之動揺を醸し序ニ軍
用金を蓄へ奸謀遠策ニも有之愚考仕居候追ニ百姓ニ於ハ一隊ニ而鉄砲
數可蓄謂も野看有間敷事外不容之事共多く巷ハ説今を将而天下
一般故若しハ夫故ハ令之行届さるとも彼水魚ニ恐怖いなし目安名く怖れ
実之修ハ如何ニ而有之哉可恐高家萬之共ニ而座候而者候情態之中ニ入候
故誠ニ以苦心仕候処幸ニも道ニ到着仕事ハ人和ニ福をも為ニ怪ニ相成候ニ有
中しハ不足

三月廿七日

(三) 江戸之噂

三月十三日飯着 竹花兵馬其後ニ而小幡参政飯着ニ而之噂ニ者高廣ニ候てせ
し迄慶喜公蟄居ニ而歎願之趣 大総督ニ於テ 京師ニ而許 御沙汰ニ付慶喜公ハ水
府江御引取ニ御預ケニ相成り彰義隊ハ総州鴻之臺ニ相退ケ候ニ付此上之
御寛典を奉待と申事ニて大総督有栖川宮ハ小田原ニ而滞陣ニ而先手総督仁
和寺宮ハ品川駅ニ而滞陣東山道之先手総督岩倉殿ハ板橋駅ニ而滞陣ニ而
道之官軍薩長之兵ハ江戸ニ入り九段ニ而巡邏致し候ニ付ニ而臺場ハ
之後歩兵組の持場ニ相成り候哉薩兵柳営白ら其屋敷ニ焼拂居所無
ニ而引渡し候及乞哉会津ニ者薬引渡し哉ニ由甲州ニ者柳営ト内出之
兵ハ新宿ニ滞陣と申事ニ而

奥坊氏話六之臺場之一所未正領き在四ヶ寺ニ而出屋ハ[illegible]
[illegible]

（二四）京之噂

迄ニ関東ニ於ル官軍与戦も有之趣相聞候得共尚又三月九日　御親征行幸被仰出
候儀ニ付無処玉意ニ於ルハ不可然与申者有之併シ兼而中立藩ハ銘藩長州藝
州肥後土州之由又一説ニ薩州之一家老を天誅ニ而逢シ首を梟し候を吉田村字福
ら住持ら見るへ候得共三軒辺之もの申居候趣丹波篠山屋吉郎右衛門ゟ話之又一説ニ
會津脱藩人加州勢ヲ以テ西之方ニ而官軍と及戦争致候由　鳳輦を叡山へ昇上け奉りし
と云由是ハ虚説ならんと云　執候ニも薩藩ニハ諸藩も服させると見ゆるも同藩之一家
老とらし七ハ小松帯刀と申者有之然ル同人も先頃上京ニ而総裁顧問となりしゆゑ大政官
日誌ニ見えたり
大政官日記第一より第三迄三冊紙数廿一枚計アリ北城よりも弟祐懇ニ贈りき
ヲ以テ一覧ヲ下した
三月廿七日記聞

（三五）松本領左右村西沢佐太七於名古屋三月十七日出之書状左之通
前文略　扨此度ゟ然ルニ江戸表ゟ三月十三日出之状中来候処左之通り
一　御勅使駿府九日出立其地ニハ　御下向之由同宿ゟ申越之由江戸表ニ而着之由之事
一　上州足利辺官軍薩州大垣勢与戦争徳川浪士大敗軍散乱致候由此官軍も
上州例幣使街道下野古河の城へ入込夫ゟ江戸ニ攻登り候由
一　栗橋渡辺逗留之由
一　會津附壬生浪士五百人甲州海道錦沢宿ニ而官軍土州勢ト戦是又會津
浪士大敗軍之由
一　水戸天狗組御葉組同士打迄相始り候由
一　官軍先手川崎宿迄押参り如何ニ相成哉
一　中山道板橋宿ニ官軍押来是も同所ニ而三日逗留之由

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

一 甲州街道武州府中宿迄押来候趣
一 厚木海道長州勢押来候由
一 品川宿中ハ芝本郷辺浅草四ツ谷下谷辺迄押込候由
右之飯当十六日江戸状着ニ遣ト候写しぬし先ハ早々囲入申候

三月廿二日夜右写

名古屋　白米　壱両ニ四斗五升　水油　壱両ニ八升
木綿白布　壱両ニ四反　中之繰綿　壱両ニ壱貫五百め

(三六) 紀伊殿御家中江口達面写
官軍追々御府内江入込候趣ニ候得共　上様ニ者厚ク御恭順被為在候ニ付必不敬之
義無之様数度被　仰出候趣追々相違候通ニも候得共斯勢ニ付如何様之変事出来候も
難計候ニ付銘々非常之覚悟ハ可有之候得共夫ニ付若変事ニおよひ候共家内抔在所ニ而
立候而ハ却而如何様之恥しめを請候も難計義ニ　御家中様ニも成御座候義ニ付家
内之者ハ猥ニ奔走不致各自宅を相守罷在役人差図次第御庭江相立退候積ニ
兼而覚悟為致置可申候事　三月

(三七) 大坂
御親征御延引ニ　御出馬去二日御達有之候事

三月十六日
(三八) 一 西丸御城内兵隊之者共御差置諸御役所向も清水御屋形ニ引退候ニ付御遣ニ

仁和寺宮

思召被為在候ニ付暫ク内ニ止ル事

松平修理大夫

叛逆之謝ハ有之入京被止ル事

右之趣二月廿二日駿府滞留之惣督府へ早便ヲ以御達有之

三月二日

春宮二条御城ニ　御着之御途中ニテ奉奪取ル

細川勢　黒田勢　加州勢　酒井勢若州ヤ

天子当今高野山ニ奉遷行ル御守衛前四家右ハ三月十日横浜着之英気象組之者京地

越後右ハ申来リト云

前三件東説ニテ全ク偽事

(三九)辰三月十六日上野御居坊唯識院僧正直ニ話

今般五ヶ条　朝命可被下之説有之　宮様ニハ関東之衆論御尋哉之趣如左

第一　江戸城

第二　慶喜備前へ御預ケ

第三　武器軍艦ヲ貢献　旗下壮徒之者京都ヘ差上

第四　其他老人ヲ向嶋寺院ニ退去謹慎致居ル様

第五　会桑伏　戦争之先隊之士官首役両藩ヘ京都ヘ差出ス

右之通ニ而慶喜ニ付　上様思召ヲ何ラスレ御恭順之事ニ付御猶予之　御出ニ相成候御備

前之逆之御所存候処其旗下之衆緒ヲ謂勝之由申候事不存敢之様子ニ云條

御断相ニ而

重之御預ケ之儀備前へ之　御出ニ相成ラハ不敢ト申実家水戸家へ之　御出ニ相成

第五今般朝士官前後ニ在出下ニ至ル迄国家大乱之基ニ付御下問寛大之思
召を以何分も永穏之始之様
右之通一應御建白之由ニ候ニ付 宮様御周旋ニ而上寛大之御沙汰 仰出され
一同感戴之由御安堵御座候

（四十）一辰三月十七日朝ノ坊之山本宗輔入来相咄候を
上野宮様御使ニ而過日罷出候執当覚王院当時一山之長子之由此者一昨十五日
一先般着大事件申上候ニ付昨十六日大総督府ニ而評判相済直之頃ニて
又々駿府ヘ罷越候事 五ヶ条の御難題大総督府ニ而 仰出され候ニ相成ト
第一上様備前ヘ御預之事　第二御歎対之向ハ遠嶋又ハ白嶋ニ移居候
第三西城差上ケ候事　第四海軍艦船御渡之事　第五陸軍兵器御引渡之事
徳川家の前遺領ハ相成丈ケ被下置此家五ヶ條之内第五 是ハ御国之家も一同無之旨説也

（四二）在江戸某氏三月廿一日付来簡抄
一徳川慶喜公ハ謹慎之上段々御恭順有之水戸中納言殿ニ而ハ御預ケ罷成候再應之
御歎願ニ而有應接宜中之旨 右ハ寺人之ハ身ニ右様之風聞御座候ハ備中松山
小笠原壹州ニ而旗本之内勤 王不服之人多有之是ニ而同志者之説も有之此廿日
三月 私ニ而所用ニ而罷行八代洲河岸通行致し候処馬場先御門〆切ニ而御門開キ居リ車
ニ而米穀家輌とも多分引入候ニ付車力ニ聞候処西丸下御屋敷ニ運ひ候由申
聞ヘ候而内実ハ西城ニ積入候由 是ハ飯之事町方ニ者無之 又会津侯ハ先達而父子 在京中不穏 中倉之為ト申事
芝口飯邑之処此節諸藩中一同御狩ナル方ヘ滞リ居候哉空儀之事 其真偽ハ相分り不申候
中ニも其外浪人歩兵等数何もなくも混り数而血臭キ由之人合ニ而覚悟仕居候由市中
堪忍ハ勿論銀座尾張丁八官丁辺一丁毎ニ八九軒程ツヽ売家明家有之老若男
女皆々田舎ヘ引込候近所ハ本所深川辺ヘ引越候ニ付店之出来ル部を卸し商物も

桜川越岩槻
岩城平ハ濃州
新加納辺ニ領地
アル故歟

如何ニも淋敷様ニ而方ハ多分形付ト相成候由見ル即暮ニ而心得候者家々仁和寺宮
品川ニ而本陣ニ而軍勢夥敷岩倉殿ノ本陣ハ板橋ニ而軍勢ハ薩州長州彦根川越
大垣忍加納岩村高遠岩村田須坂飯田岩城平十三藩ニ而座ト且橋本
殿ハ一橋公ニ而歎願ニ付寛大ニ御處置ニ而御伺ニ而上京ト成トモ申ス事実ニ而候由ト云

㊂三月廿四日付江戸某ゟ来書抄

一 三月十六日因州土州之藩三人御上屋敷ニ罷越北澤織之助殿ニ面会致度
旨ニ而然在京之殿及接待ニ付然ラハ玉川一学殿ニ参リ右十人ニ而何ニ談判有之ニ付一應誰
ト其子細を不存延引ニ得ト通用御門内ニ大銃並ニ有之由を御門外通行之節
見遣ニ置備用ニ候処事ニ而其節玉一発ニ而何事モ事役ニ而是ニ付一応接待ニ澤川下屋
敷ニ有之方ニ罷出候由（是ハ二度目参リ此節ノ事ニ成ヘシ）廿一日ニ右三人来リ同人ニ参合尚宮下力度
ト申候右三人旅宿新宿ニ而甲州三日参リ午留後大銃二門宛貸遣シ候由徳川家ト

モ極悪ニ而京都ゟハ宜敷ニ而一同迷惑之気色ニ而座ト相成候ニ如キ至極穏ニ而
四方モ落着居ルト先達而ゟ芝居三ケ所共有之ニ而寄場ハなくとも居ル之事　官軍品川
板橋ニ押寄トテ不残而止ナレ明キ家多ク又二間之店ニ而一間ハ土戸を建目塗ヲ致シ
土蔵杯も閉候又借り家有之表不残ト而本庄具ニ引越候札張ル由ト説ル事ハ何
居リ候有之体今ニもとより人気ニ而落着世上如何之儀ニ而歎思ふニ而二月十日

○北陸鎮撫使通雑説

一 三刑語北陸鎮撫使総督之通ニ致ニ付ニ而入札一座ニ而取調タル、同様銘々坂本良次郎看此
ニ而陣ニ来指橋ニ新敷ヲ出シテ途中逆遮リ新宮迄参リ度渡ス処其頃ゟ陣先本陣入
ニ而付ル二ノ内ゟ碎ル故ニ代方ト云是ハ留後之各兵之ト云ル続キ説ル橋を伐タルニテ
積サレタリ備真鍮燭臺唐銅火鉢各八十宛新規ニ貸夜具ハ何ツ一ノ用ニ之ヲ右ニ准シタル
ヲ拵ヘテ三刑ゟ到リ見テ如何ニ而近所を集メ代一ノ者物ニ而夜具ハ如何ハ仕合

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

一 丹後舟ニて武州金沢ニて出帆せすなるトて云
異人ニ而刑をなし通り或は候ケ所ニ而参ル事ハ小路を塞ぎ通行なく西国
見る路難渋ニ而盛歳ト云 此節も役船参り是ガ五代官様江名も銘有之やうニ
一向ニ言ふト云ひける事ニ而路之へ相成候ハ急ぎ出候ニも陸行移り候人ニ而ハ注進
致し候 此等ハ舟を差ひらき候し旨云ハ其ニ金沢へ行も候由也

一 横浜ニ而四條殿ニ而刑一ツ道ニ而浪人八人ニ而備ニ来り候ニて参る道ニ而

一 五日ニ宮崎表ニ参り候ニ付候中ニ而之ニ参る年々ニ十二二百匹也ちん安納舎へ参る五日
浪士ノ云 直ニ参り之ハ余りニ而宿ニ而参り候ニ付輩ニ而ハ一ケ十匹ニ而差置候ニ付指
刺さし而知候ニ而送る様ニ而参りて言ふ事ゆへ合をなして刀抜替ノ物ニ而我ニ
致し候得共我等宿ニ而参り候ニ付之ニ参る事

一 大坂浪人ハ稲荷ニ而二千匹ニ而召し取候ニ而候ニ付候得共録夫ニ而一行道ニて参り候と云

四月朔

（四）京都話

一 池田之宮ハ司御用ニ付諸国藩屋敷ニ千人ニて内司所ニ振 癸亥四月浪士ハ浮浪人又ハ何やら書キ
御九位屋ハ水口ニ而御屋敷へ参り居候由 右ハ使者之朝之日之事ハ平左ノ定書ニ而出一ノ札

一 仏英蘭公使来り朝之時日御門并明門及階下々三ケ度水口ニ而改メル由

一 二月晦日右途中三條ノ角ニ而突然ト出て英人二人ヲ殺二人ハ一人往ハ傷
ク墨染之者七人之内一人切リ出シ殺之 三名 一人 年若 生虜ニ而有之名前ニ而有り
一人ハ我々ニ而送り来る
ニ而之ケ付てもるやうやく為ニ而也

余 者様

一 中ケ辻藩御之西ノ願流之傷兵日三ケ度ニ而 御新好国を巡遊 元壬生浪士ノ事 所置るし
三月以来御ニ刑いう霊頭ニて何ハ得道奥不符各もあろニ節し頻ニ使

一 西山生 三月十六日名古屋へ参り大ニ之参晦日

一 御親征御発輦東本願寺御休 岩清水御拝 同所ニ一泊 九二日 同泊九三日
浪華着御 其後大和 神武帝陵 御拝 伊勢神宮 御拝 夫ゟ東海道を
御下向之由ニ候頃ハ関東平定ニ至り候との事之由云
一 九一日 行幸之西側ニ而拝観致し候処 御事出来候而東方朝日様ニ御座
候中 御義列ニ 御通輿候由ニ候 従駕ハ公卿諸藩之由云
一 太政官日誌ニ御定之新令ホ追々御布告有之候条々相行ニ而頒行有之由
一 日記方三差上ル蒲献之数論 菅原氏列女童子
一 加州老公上京是迄御在所之屋ニ而海街其主向七十余年ニ而寿 金子両 米七百俵ニて献上有之由
ニ相候御用ニ而追而金銀方ニ而献上有之由 加州大禄ニ而何ニも二百万石の得ニ而有之由云
一 我若下田ニ而京之田舎ニ而候処ニ而追々ニ而相行ニ而知其筋ニ而之由ニ而日々
一 ... 候由之云 ... 行事

一 尾州公中之條ニ人数到着之事其外聞書 元町泉紀多
尾州公 一ノ手六十人程 一手三十人程 中之條ニ到着同所西念寺ニ止宿四月朔日松代昼休之由
中野ニ而罷越右人数 中之條 御影中野 三ヶ所ニ分ケ居候由之説
鍋嶋藩士三十五人四月朔日松代通行 市村旅宿 故ありてし 北陸道先鋒隊之後を被ニ
一の有之哉
一 嵯峨宮九條殿蒸気船ニ而越後新潟ニ而着船奥州路ニ而越之由右之筋北陸道ニ而
御督ニ而近ラしく三月晦日昼夜ニ而高田藩士早追ニ而松代通行有之候而陣屋ニ而御方役所ニ而許と
一 三月晦日夜上州辺ゟ佐久郡辺ゟ凡三千人程騒動押来上田町ヘ入り高家二三軒打毀ト
存候而人数出張致し候処相鎮り候中之條ニ而罷越候処ニ而私領ニ而不捕上旨ニ而留宿
村役人ゟ其方役所ニ而許ニ而中ニ而家一應之許と答ニ而候ハ詳ニ不相分候右村郷宿
松屋某之噺也 四月朔日

（以上御預所ニ是迄之仕来り初納二納三納ト割賦して取立候処今度ハ三納分一度ニ道中筋物騒ニ付其代ハ村方ニ預置キ追而沙汰次第上納シ可申答也）

四六 佐久郡村々強訴之事鼠宿村ニ而茶屋守室賀八左衛門始

尾州家ヨリ御役人（旁ハ薄隊ト号ス）凡二百人程中之條西念寺ニ止宿せ致右陣屋支配村々年貢

去卯之三納分強而相成居候を右御役人三四人四五人完手訳して田村直ニ乞宗

様之預り之儀ニ候へ共其儀聯留候而も無之右預り了節之下河野曽十

郎ニ都合次第操廻し候而も不苦候義何処之間済有之候由ニ候ニ付而出来令候

右日延中ニ而如右御役人次第間済之儀直ニ上納不致ニ於而ハ討捨ニ可致旨一結候

依而百姓共ニ於而も不得其意是迄之通り上納物日延之儀を聞済ニ而相成ト上納運滞

之直ニ一命ニも及候杯申事ニ候而不承及 殊ニ 追々承及候處ニ而ハ下恐 朝廷ニハ段々

格別之御撫恤之処 仰出ト申事ニ而尾州家御役人々被為ハ右体法外非分之

御取置道ヲ擅ニ一統不穏候処先般東山道鎮撫使御下向跡宿々御探索ニ

して何事ニ候哉其日止宿ニ止宿有之右ハ名主宅之由右村方之若勝手ニ集

（大政官代ニ而役落（?）…）

（長窪宿之ものニ右宿堀松尾州神ノ社殿ニ寄集高声ニ罵り候を頼蔵聞付名主ヘ相尋候ト云）

参り右非分之次第を高声ニ申罵り候を右止宿之仁聞及亭主ニ何事ニ哉と尋候ニ付願之趣

儀御聞ニ可成筈之精ニ申含ニ候へ共多勢之事故中々穿入不申殊ニ当所西也ニ名主

中之條支配之村ニ無之村ニ有之如形人気不穏役前之者共困り居候由申述候処右止宿之仁逆

一ト通聞届ケ而夫ハ難心得候右様之取立ト有之筈無之筈ニ其役中ニ而今一応次第承間其段一ト

通り世方ニ而参リ哉又ハ先方ニ而参リ哉挨拶致ニ而聞置候ニ付名主直様尾州

之取立之御役人ニ右之趣申述候処何事相談之上ニ而挨拶可有之と申置候得手ニ相成候由

（右取立）（并民蔵共ノ）（并宇之條取事方柴田民蔵）

御役人ハ何方ヘ欤逃隠れ座敷ニ不残右之儀ニ而弥々村中之者一同騒立候御役人ニ

（是ゟ致胡乱ニ見え候）（騒立尾州御役人ト民蔵ヲ）

相違無之ト諸方ニ審警固致候所己ニ也理不宣内ニ付近辺之二三人其ニ押不致近辺之者ハ人付

置夫ニ近村ヘ為触知候ニ付右ニ不服之人気故忽数百人寄集り中ニハ中之條ニ止宿之分不残

偽者之様ニ申早ク向不申ニ押寄押善手ニ餘り候ハ打殺セ杯申ニ右辺ヲ山方故猟師

同様ニ持ニもの多しテ表向ハ愁訴之体ニ而鉄砲竹槍ニ菰包ニ致シ押出シ候ハ

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

三月廿九日之由凡三千人程臨越村押通り候節右村名主某ハ河野當十郎与申候て利害申候処此
名主ハ御役人与同様之ゾと申試不申や多勢押込戸障子唐紙鍋釜等ニ至迄打毀し夫より
追々押来千曲川東端之屋々処々千五六百人屯集大屋河原に凡五百人程屯集いたし七八十人程
上田町（横へ迫）江押来り候付同所御役人出張いたし紀候処中之條御陣屋へ願の有之罷越候旨ニ付右願
筋ハ此方共引請如何様にも相叶候様致し可遣候間先々引取可申旨申含有之上田の口寺（日蓮）江
連込酒飯を為給候処中之條之御附尾州御役人八九十人小銃を持陣羽織着用ニ而押来百姓
共一人も不残為打殺候由猛勢ニ而上田町を押通り候付上田御役人共先ニ而和睦ニ而拙者共ニ而
如何様にも取鎮可申取扱等ニ而置候而百姓共へも何連ニも引取候様申含候処頭取候者申候ニ
私共ハ畏引取候へ共何と申ても大屋河原ニ相居候数百人之者共ハ尾州御役人御一同罷越し候ニ付
之由とも勝ニ候て中之上田御役人も詫申請尾州御役人ニ多人数ニ而ハ却而不宜河野氏ニ
右三人ニ而ハ越之方へ罷越談判候処右ハ御請（尾州松本着）右三人上田御役人右三人ニ而七八十人之百姓共一同

大屋河原へ参り候処河野与尾州御役人を多勢ニ而百姓共二重三重ニ取巻中ニ包廻（河野ハ石ニ打）
（付怪我致）ト鉄砲竹槍を向ケ同人を取り執し長窪へ連行ニ付探索方之御役人も会申候処
中兵とや
右之鼠宿村へ探索として遣し候者大屋河原之体一見いたし長窪ニ而記し置候ハ
押来り百姓共之内頭立候者共ハ縄かけ有之候て四月朔日夜引取候ハ尤何も中ニも多人数ニ而二日ニハ
尤右何も拝宿町松屋某方ニ而泊り居候河野氏ニハ様子ハ承り一応穿鑿之上ニ而ハ
不詳
但偽者ニてもこれ有り候ニ付ハ西念寺庭ニ而調練を致し候を見候処足並一向不揃ニ候由
又陣羽織を新調不残對襟も同様一時ニ拵候様見えて古く見え是ハ上田ニ而拵候由也
聞長窪追宿の照頼四月朔日追分泊ニ而民州御役人与紫民を連行夫切沙汰無之由
考ふへハ東山道之往来近連行し成へし大屋河原の河原と尾州御役人ハ照頼ハ面

今もって関東ヘ参り候中之條西念寺ニ止宿の者共ハ御影ハ行の関東ハ行のとや
多敬致し候由 朱書ハ二度目の探索ノ時之

乍恐以書付奉言上候
当 御屋形様御儀者 日光様 台徳院様依 聖慮御政道及 御嫡家為補
闕被為 御立置候段萬民並承知仕候二百五十餘年 御武恩ニ浴し候者仕合ニ存
罷在候處追々四民古乱之患雖亡心却仕驕ニ長家産不足より人氣邪路ヘ陥り御政道
追々衰不正ニ成行其上近年夷賊共渡来致國風相乱上下共利欲而已ニ走萬民塗炭之困不
大方 御屋形様御儀者前條 御家嫡之儀ニ付御改ニ御引戻可被下置渇望
罷在候外尚又今般不計國乱差起剰関東 御征伐 御下向之由驚歎至極奉存
上様御征伐ニ被為當候御誤ニ御座候ハゝ 御同宗之御中ニ而楯ニ被爲及候段無之
本意可被思召候得共他家之以兵威御征討ニ御座候而ハ御譜代之者武門之意地ニ而
識之候手當可有之容易ニ而ハ平均無覚束其上夷賊共國乱を乗し奸謀可相企哉
難計畢竟 徳川之御家御政務中入津ニ而兎被 仰出候事 朝家之汚名等以

徳川御綸彌後代迄之御名折ニ恐 日光様御武徳ヲ以相郷音ヘ可嘆之至寂早
ニ千後ニ相成御追討使 御下向之由ニ付得其意御時節自ニ 御憤發 御追
討使 御屋形様ニ掃替御願被為遊 御家門御一和御征伐ニ座候ハヽ天下之武威
七分ニ御家門之御保可有御座他家之兵勢ヲ以テ征討ニ座候ハヽ 御威光三
分ニ過中間敷殊ニ大國之諸藩害心之程も難計如何様ニも可賢策 御家門御一
手ニ為在御出馬候ハヽ如何様ニも累代之御恩澤忘却仕候面々 日光様奉
對御血氣敵對仕候者一人も有之間敷候戦争之気慾不日ニ被為遂 御成功
御嫡家 朝敵之汚名被為雪候ハヽ 日光様奉始 御代々 尊靈ニ
御孝道無此上且又天兵ハ不奉勞之御忠節可前後ニ而 御武功長カラ不
貴 御仁徳 上様御罪服之上關東御立行之御便方全之御計ニ作
恐奉存候紀伊中納言様卅八才ヲ御若年之御事當 御屋形 前大納言

様御賢名ヲ坂東之四民悉存罷服仕居候得者此度之大義偏ニ 前大納言様
御一身ニ相懸り天理ニ於猶豫ニ可有之候其詮有之間敷下賤之言上恐入候得
共從來之 御恩澤忘却難仕且ハ万民之悲愁難見聞ニ不忍同志之者共申合
不顧万死奉書上候前條自意而已ならす 神慮恩感徳仕候儀有之奉言
上候誠恐惶敬白

慶應四辰年二月

信濃國同志總代
同國小縣郡長窪古町元名主
当時流民 共立左和つ
冬 一

一 異船行日記

三月十一日
一 夕刻罷出致 屋河岸舟宿ニ十三日迄泊

同十三日
一 夜頃ゟ組八丁須七惣代ニ小大ニ木川ニ泊

同十四日
一 鳥徳ニ泊

同十五日
一 湊又ニ泊

同十六日
一 山田ニ泊

同十七日
一 関宿先境ニ而ちア船ニ泊

同十八日
一 栗橋ゟ大風ニ付八幡裏ニテ船ニ泊

同十九日
一 上州川又ニテ船泊

同廿日
一 舟木村ニテ船ニ泊

同廿一日
一 昨夜ゟ夜頃ゟ西風強く舟中難渋

新居仕度所出来致候ニ付正午御出立被遊候よし夕刻迄御着被遊候

同廿二日

一 今朝御機嫌克中瀬より御泊

同廿三日

一 中瀬宿御逗留

同廿四日

一 倉ヶ野より御泊

同廿五日

一 人馬差支有之倉ヶ野宿ニ御逗留

同廿六日

一 松井田より御泊

同廿七日より廿八日迄

一 同所ニ御逗留

同廿九日

一 坂本宿より御泊

同晦日

一 追分宿御泊

四月朔日

一 上田宿より御泊

同二日

一 矢代宿御泊

四月朔日

(只) 一 江戸ハ麾下士脱走多く三々五々所謂唱義隊 隊長忠隊ハ方ニテ徳川家ニ激烈之多く其隊ニ事破るへき故 前閣老板倉小笠原ハ程ヶ谷ニ被居候よし 此在之中ニ御座候よし 云々

一 我新撰組近藤勇ハ入切ニ而図面ノ衍ゝ若狭迄出所当ノあり 八代洲河岸ニ而一同云 同所ハ当家之隊ニ而御座候 大砲ヲ相見候ニ付迄ニ候由 度ニ而述下直ニ被行候故 程ニ新深川下屋敷ニ於テ当家方を相用候や とかく一定無之 相成候ニテ何ゝと申候所 諸人之ハ子ニ而云之ニ而候所出迄ニ候得共 所ニハ不存 右之如 右ニ而者一日も不残ニ而引取候よし

一 右屋方当家ハ品川ニ於新撰組迄下候ニ而 度ニ所々而当屋敷ホス敷ニ而申し候内ニ而 右之諸方郎ハ押入る事ニ而 諸方郎相入アルキ程ニ而ヲ申し候 右之輩ハ北本ツ大砲ヲ備え候ニ而刻も 同之迄ツ之 当家直ツ当座 宗ゟ橋切之

ら我藩邸ニ来リ頃ニモ務ヲ至ラ子々当地ヲ立ル大孔ノ争接之と云

一 黒沢主殿ハ薩人ニ三月晦日殺ノ由拝書事

一 浪藩士薄引持久多ク帰ル者カ人数ナキ由

一 今日四月朔 金千五百両一口 千五百ノ千二百両一口 又五百両ホ之入人数ニ而 相模ノ押送シ四ツ時分 一万両ヲ呼寄ル 岩倉智養ハ指出スコトニテ 田中修理ヲ以テ来テ在早速ニ而行キシトニ

一 横須賀城築当役所右百両ニ而 備サスコトニ成ル事ニテ然ル所先頃より方々騒速減殺ニ成リシ故ニ事ニ至リテ不相成田植ハ行兼 深修政ハ是在候大木出ス事昨夕昭ク久時 金二千匹贈り之由早使ニテ為行候よし

一 長久保迄十八ケ村 除ヲ上四ノ大夫ニ来ニ兵粮 段殺在之ル二日 新ナ斬見 往還ニ者角当分年嵐 宜作假ノ行之よし 指揮ノ方ヲ以テ出張致し 出張中ナルよし

一 四国征討鎮撫使四国ニ行所々ニ城ヲ受取リ候事ニ而 当月中 到来ニテ右相定マリ相成リ候ハ・伏罪為致候ヲ事 也ハ于今迄事 四国一ト平定候事 已ニ鎮定在之向ニ及ビ候右体四国中ニ而事ニ差候事到来之由

一 鳥木俣是近江藩 藩中郎 ニ於テ謹慎在之候所 家来ヲ以テ 数多ニ越候 相嘆願ハ以越後ニ来ル人々ノ是ヲ到来之由 承リ候謀ニ而迫リ舟路ヲ相廻シ着有之者ハ越後探索致シ中之内 会津侯 嫌疑ニ付 密ニ使ヲ会津ヘ出シ云々 由

一 江府ニ於テ浪士ヲ殺害セラル者有之 多ハ薩人ニテ脱走人ニ所有之ト云薩人ホハ今日状差出 自今 右脱兵ニ付 国ハ不相済ト云々 諸藩ヲ以テ 故ハ 華族ヲ設ケ候所 兵器ヲ取ク可ヲ求ル故ニ 之迄ハ夫ノ有之候よし 接之と云

一 官ヨリ大総督府ヘ 諸ニ在定ニテ 多ク以テ之 浪藩ヲ 行テ 薩候之ニテ 防衛ニ備ヘ定テ 可有之ト云 ○ 肥後 十万石ニ 年来ヨリ 賜物ヲ 一ノ借ヲ 請テ

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

此事を京へ急く申上く

（四九）在江戸宮方代四月朔日付書翰抄

一 切迫之義も和戦之両端今以分明ならず候ニ付相極り不申候 急ニ應援之人

薩ト此日出張大砲隊ニて渡ト云ハ九分ハ戦ニ決し候由中々大ナル事ニ今日

も薩州大砲隊ハ急ニ出張ト申候ハ因州ニ而藩之陣并尾州之屋

形ニ罷越申候用向ニて出張ハ九ツ時分周旋仕西白ニ出張ニ付以て近日

ニ而参り候ニ付て来ル出張之日限相極り申候ニ付近く出張ニ付尾州も

ニ而候又此地へ急キ近く先ニ陣を固め居候ニ付用意致し置候様申渡

之事

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　右之趣

未タ右之通ニ而会兵進て其地へ出張致し候ニ付委細ハ追々可申上候

之由ニ而急ニ申遣し御心得ニ相成候様可申上候

之様申候

（五十）東西談記

一 因州之先鋒ハ代男ニ大砲ハライフル加砲一門 二十寸忽砲一門 手臼砲二門 十二旬

一 会津も越後路へ人数を出し聞ニハ従来之勅使ニ對シ不敬をなし依之征討と

唱ニ人々ハ頭領不法相勤候者ト称シて小山小野谷ヲ堅め 小荷又共ニ家族也

七ヶ所近辺ニ村々博徒無頼之者を聚集致し候而も日々侵し申候

田中之者も渡又其外ニも其者多く集り居候由ニ候て其方人ハ謹て居候由

一 奥州伊達仙台侯ニ新潟表ニ而他侍ら異議無之候へ加勢せられ候

乃船を借受候之ト云一説ニハ 別ニ越後住持不白ありて候ともと云

一 新発田会津と兵端を開き新発田勝利ト云

一 会津領ニ三ヶ所ニ火をかけ他之人々へ火を集て放し候由未タ不分明

依て右之ト云又他郡探索之者を遣し見届候て馬喰町ニ二月下旬

左馬助保守ト從今ニ一方任ケ呑ア あるよし

一 若年寄并諸道奉行大小山ト雇相公上青木ニ於テ[illegible]
鈴木節ハ[illegible] 諸[illegible]事[illegible]候兵[illegible]口上[illegible]入候ハ[illegible]口申ヶ[illegible]
一 心[illegible]入候ハ[illegible]鏡ヲ学[illegible]ヲ[illegible]今ハ[illegible]剣術ヲ学
[illegible]千人[illegible]云 ○ [illegible]一[illegible]身ノ[illegible]七
[illegible]様[illegible]我[illegible]一[illegible]不[illegible]ノ[illegible]云
ハ[illegible]人[illegible]行[illegible]一ノ[illegible]云
○[illegible]兵[illegible]長ハ[illegible]来テ[illegible]
○[illegible]人[illegible]西方ニ[illegible]ハ[illegible]云
[illegible]文[illegible]云

一 [illegible]士[illegible]七[illegible]云

四月十二日

徳川家百五十万石ナルヘキ由ニ候七日以前ニ風聞ス 慶喜ハ八万様百石ヘシメ八百万石 家ハ廿万石已下ニモ王臣トナル人アルヘキカト云

○ 新[illegible]

一 四月四日勅使柳原殿橋本殿西丸ヘ入来五條ヲ以達之[illegible]勅額之[illegible][illegible]ハ[illegible]万石[illegible] 閣[illegible] [illegible]

先日ハ三條ニ[illegible]至極[illegible]万石已上一條已下一條 朝敵[illegible]有ニ[illegible]文[illegible]一條 陸軍一條右ハ[illegible]

右両勅使一時計ニ而退出[illegible]中[illegible]十一日[illegible]

一 今度下モ在服之[illegible]在[illegible]

柳原[illegible]一旦[illegible]池上本門[illegible] 未詳

一 [illegible]

[illegible]乱[illegible]板垣[illegible]

[illegible]板垣[illegible]

之奥羽保寧ト往今ニ一[illegible]

一 [illegible]大手山ト[illegible]二月[illegible]

鈴木郁ハ[illegible]諸[illegible]

一 一心隊ト入名ハ[illegible]鏡ヲ[illegible]今ハ日ニ剣術ヲ学

[illegible]一[illegible]身ノ[illegible]

[illegible]検[illegible]我[illegible]一[illegible]ト云

一 [illegible]一[illegible]ト云

○[illegible]兵[illegible]長ハ[illegible]

○[illegible]人[illegible]西方ニ[illegible]

[illegible]

一 諸[illegible]士[illegible]ト云

四月十二日

徳川家百五十万

王臣トナル人アルヘキカト云

一 ○新聞
四月四日勅使柳原殿橋本殿西丸ヘ入城[illegible]達[illegible]
[illegible]水戸ヘ[illegible]
[illegible]以下徳川家ニ[illegible]

一 右両勅使一時計ニテ[illegible]十一日[illegible]
今[illegible]在[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]

一 [illegible]
参謀板垣[illegible]

四月十三日

一 [illegible]在[illegible]

一 [illegible]白川[illegible]

[illegible]

四月十三日

[illegible]江戸[illegible]御上京[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

四月十二日

[illegible]江戸[illegible]

一 [illegible]羽山[illegible]

右[illegible]

[illegible]御上京[illegible]

[illegible]三千[illegible]

四月十三日

一 [illegible]

[illegible]大変[illegible]

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』 請求記号 836-3
ガラス使用

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]白川[illegible]會津[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 備中[illegible]

右[illegible]所写

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

国立国会図書館　　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

一 いつれも近々出来候由 [illegible] 日本橋ニ而 [illegible] 候
せつなく [illegible] 候事
一 [illegible] 候 [illegible] 候事
右ハ宮氏 [illegible] 一 [illegible]
第八号
一 仏郎西人サトー省 [illegible] 候
一 北道 [illegible] 千住口ニ [illegible] 山道ハ [illegible]
一 宮津宮侯ハ [illegible] 君 [illegible] 候事
一 君名 [illegible] 候
一て [illegible] 候
ここ宮 [illegible] 候
[illegible] 候
[illegible]
十三日 [illegible]

一 越後出雲崎在番ニ而 [illegible] 旅人 [illegible] 候
[illegible] 一人ハ [illegible] 一人 [illegible] 候
[illegible] 候 故 [illegible] 候事 十三日又記
一 何月会津役 [illegible] 根本ノ原寸七郎上田ノ使スル [illegible] 候
[illegible] 候
一 昨日仙山多使之一人ハ大垣藩士岩 [illegible] 候
十二日
[illegible] 候
[illegible] 候
[illegible] 候
[illegible] 一人 [illegible]
一 右 [illegible] 候

[illegible]
一　[illegible]柳原[illegible]両　[illegible]
[illegible]
[illegible]
河池二千[illegible]百五十[illegible]
[illegible]
其祖先ハ[illegible]
[illegible]
上総久留里三万石之上州[illegible]
[illegible]一[illegible]
[illegible]黒田[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

[illegible]中武部等掌し四方ニ辛く命を助る

小栗ハ吾妻郡権田ト云所ニ於テ打捕ノ手際ニ[illegible]
[illegible]

一 [illegible]白旗[illegible]

一 [illegible]野[illegible]

[illegible]

此後[illegible]上田[illegible]

一 [illegible]

[illegible] 正[illegible]

近鉢[illegible]坂本[illegible]

一 又[illegible]

[illegible]哉

㊁
御高之辺書付

此節 勅使御越之通り信濃守ニ[illegible]恭順之二念之辺[illegible]運開
皇懸之余業意大之御沙汰ハ既実ニ難有仕合存シ一同ニ[illegible]
聖旨遵奉之儀ハ[illegible]
[illegible]
我等遵奉可致事

四月[illegible]　信濃守

㊂
大目付
御目付 江

今般[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』 請求記号 836-3
ガラス使用

定ての不案上下へも然々候ニ一揆ヘ追れ来帰或説ニ常ニ同陸ニ辛く命を助り
候処一旦盗めを計殺され候よし　已上

一 [illegible]白根河原ニ於ゐて論旨ニ而[illegible]之事[illegible]趾並んよし
今[illegible]罷越候由 日野[illegible]不仰[illegible]右近衛将[illegible]殿[illegible]事[illegible]候ても[illegible]

一 [illegible]并ニ四[illegible]焼[illegible]先々安田[illegible]三人[illegible]一[illegible]
焼之文書[illegible]　大[illegible]　一三[illegible]

一 [illegible]中[illegible]
[illegible]正[illegible]

一 今[illegible]

一 又[illegible]
[illegible]一[illegible]哉

㊁
御趣意之御書付
此度　勅使被成候之通ニ付[illegible]恭順[illegible]二念之[illegible]達[illegible]
皇国之御為[illegible]大[illegible]候[illegible]
[illegible]奉[illegible]
[illegible]更[illegible]
厳[illegible]遵奉可被成事
右四月[illegible]　信也之

㊂
大目付
御目付ゑ
今度将軍家[illegible]之通[illegible]中[illegible]　信也[illegible]
[illegible]先[illegible]
[illegible]

○別紙

徳川慶喜欺罔 天朝之始末不可言之所業ニ至リ深ク奉悩 宸襟依之
御親征御陵諸道進軍之処悔悟謹慎之二字ヲ以テ 聞食ラレ候
皇恐之餘別紙之通ニ 仰出候條得与御請可有之以ハ辞ヲ以テ日限十日ヲ刻限ト
シ各件不遂ニ於テハ 御沙汰ニ及フ事
右日限迄ニ寛假之 御沙汰以上ニ更ニ欺罔哀訴歎願致シ候者 恐
議内之確乎不可抜之 處置ニ至ル速ニ拝觧ス可有之儀者也

○別紙

第一條

慶喜十二月以来欺 天朝剰兵力を以犯 皇都連日錦旗ニ発砲シ重罪
タルニ依テ追討官軍ヲ差向ケラレ候処真実恭順之意を著シ謝罪アルニ付
テハ祖宗以来二百餘年治國之功業不少殊ニ水戸贈大納言之積年勤 王之志
業不浅以格別深キ 思召ヲ以テ左之條件実行有之上ハ寛典徳
川家名ハ立下ケ慶喜死罪一等ヲ宥シ水戸表ヘ退キ謹慎可在之事

第二條

城明渡シ尾張藩ヘ可相渡事

第三條

軍艦銃砲引渡シ可申追テ相当可差返事

第四條

城内住居之家臣共城外ヘ引退キ謹慎可在之事

第五條

慶喜叛謀相助候者重罪タルニ依テ可處厳科之處格別之寛典ヲ以一等可宥

営お弟ニ不宜ト言上之事

但万石以上ハ以　朝裁御取扱有之事

（三）四月二日丹波守殿御渡

此度一橋殿田安殿御連名ニ而御歎訴状一橋殿御持参東征大総督

宮御方ニ御参上且若年寄大目付御目付衆罷出歎訴候処　上様御恭

順御謹慎之御誠意相顕候ニ付厚ク寛大之　思召を以御処置之御示御沙汰

被為在　勅諚ヲ以テ御沙汰之　御沙汰書ニ付何ヶ條御書取之通御達ニ候

奉承候ニ付右御聴候様被仰渡候　尤御請書之通ニ可被成候事

一　勅使御出入ニ付西丸ニ御参　城

一　一橋様今日江戸表御下向ニ付御立ニ候

（三）隊名　徳川脱走

一　草風隊　浅草海禅寺

　　隊長　織田宮内少輔

　　　　　天野加賀守

　　　　　右成と存候

一　義烈隊　麻布　筋違橋

　　隊長　峯橋真之丞

　　　　　佐藤甚三郎

　　　　　凡五百人

一　松平西福寺　屯集

　　隊名不分隊長　村上一学

　　　　　　　　　医師何玄了

一　護国寺　屯集

　　　　　　凡百人斗

一　精鋭隊

　　隊長　中條金之助

　　　　　山岡鉄太郎

　　　　　関口良助

　　　　　須山某

一　撒兵隊

　　隊長　篠化八幡

　　　　　保保藩之助

　　　　　凡五百人

一　遊撃隊

　　　　　四百人余

一　勇剛隊　散兵　小六隊

一 刀撰隊　凡千六百人余
一 春銃隊　半大隊
一 傳習歩兵　三大隊
一 見廻組　二百人
一 歩兵　五大隊
一 大砲　三百門

一 銃器並列砲隊　凡三百人
一 奥詰銃隊　二大隊
一 彰義隊　三百人
右ハ結城之浪人自師ヒ成立之事
一 西洋銃　三百万挺

以上

在江戸某氏筆記写

勅使方四月四日西城江御登入城徳川家江被仰渡之趣ニ而十一日開城之所同日迄
歳下方ニ而寄合名数万之旗本之家人浪人成り不成之趣有之一統ニ穏之屋敷ニ至
り探索方飛歩行出張其実ニ入合ニ付軍事方一ヶ所ニ相残り町方之者杯と別而
駈歩行又旗本之家人洋服之見附出入又丸之内諸侯屋敷不残引揚ケ其外
上屋敷を南部坂江引移候之義故大混雑久保町辺之者又真田様之御勤之
者之内ニ子細之候ニ付右様子之気色ニ而右文之沙汰有之ソヤコソ合戦有之事と騒立
家財等一切ニ付年之者一二人程宛残り居老若婦女子ニ至る迄右様之儀ニ付何方
ゟ退散之義　勅使方御督府之御沙汰之上ニ而又大政官代ゟ当分御会之所廿
日極密之有之ニ付事情漏レ候も有之候ニ付洋服之旗本之家人羽織袴ニ
替り既ニ十一日公虎之門御手之西番之羽織袴ニ相成申候然ル処穏ニ相成候

を以寄手ニ一所何百万石ニ而茂被成下候共申分内實ハ[illegible]ニ有之候是迄之

浮浪之者不致候事ニ付穏ニ相成候様致シ[illegible]城請取官軍ニ而通

慶應四年戊辰四月十一日

虎ノ門通行官軍朝五ツ時前ニ下

菊御紋御旗一本 地赤御紋白

尾州 拾四小隊 外ニ継手之 騎馬一騎 薩州八小隊 一隊七十人 大銃四門

菊御紋右同断

備前 六小隊 但一隊三十五人 騎馬六騎

菊御紋右同断

新橋通行官軍御旗右同断

一 長州四小隊 一隊三十六人 備前二小隊 一隊三十六人 大銃壱門 大村二小隊 大流二門

異説云

一 戎装之事ニ付 御目見已上 [illegible]袖[illegible]小袴[illegible]着用之事

一 但裁付着用之事

一 向後[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 道中小袴裁付着用之事

一 [illegible]

一 [illegible]

一 此度御下知ニ付御用捨ヽ

一 銅銭之義当時御通用研磨之上自今一文銭ハ鐚銭ニ交通ニ作候事
 [illegible]近其位ニ常ニ得サル処ニ勤之ハ好高下モ是邪ニ絵ヒ付又之儀為ヽ
 ニ依テ違ヽ御用ニ布告ニ作付之事

一 ニヽ

一 [illegible]作[illegible]

一 此度一統[illegible]

一 [illegible]
 一 [illegible]

大政官

一 [illegible]

一 [illegible]
 [illegible]

一 [illegible]
 一 [illegible]

一 [illegible]
 一 [illegible]
 [illegible]

五七

戊辰御上京御供名前

御家老 真田志摩	御使役 菅鉄之丁	中村尺兵衛
御番頭 一 祢津文之助	御目付 一 鈴木準之丞	今井採記
海野寛男	長谷川大丁	白川久兵衛
御使番 高野彦馬	五番 吉沢十助	奥村三五之丞
根井主馬之丞	増田[illegible]	滝沢寛之丞
御番頭 一 鎌川賢之助	水井治馬	西村忠丁
二 師岡源兵衛	廣和[illegible]	関山権之丞
一 藤井浅之助	岡嶋彦七	[illegible]右衛門
御用人 小山田采女	今井好治郎	六番 中村勝之丞
澤角南	已下一番之拾人 楠本丹下	三橋六之助

竹田真大夫
坂口右太郎
小林若大
島津左織
高橋兼作　二百石？人
石原謙之進
宮下欽次郎
近藤友三郎
竹田楼草
加藤直衛
坂野栄次郎

竹川喜兵衛
小林彦次郎
已上三十人
同役　今井友之進
馬場平作
中野悦蔵
小野貢三郎
内川小六
松村甚次郎
柳原喜蔵
八木孫之丞

桜井又平治
松井徳兵衛
堀尾彦九
島田竹次郎
三宅新治
大久保甲兵衛
横手孫兵衛
荒川道輔
長谷兵作
青柳多
杉尾喜三郎

小山信三郎
以上二十人
同先立
同隊長　西村孫大夫
近藤銭次郎
同前割
四月十三日　森本甚輔
竹内金三郎

御休泊
四月十六日
篠山井筒屋休　稲田甚左衛門
馬場崎御泊立
同十七日
青柳御小休　青柳川右衛門
黒田御休
同十八日
佐坂宗御泊立　弟尾屋社治
松原御小休　金村喜右衛門
御原御泊　平田治兵衛

幸原御休　柳澤甚八
麻績御泊　臼井太三郎
羽場御小休　佐藤幸右衛門
刈谷原御泊　中澤与治右衛門
岡田御小休所　七郎右衛門
村井御小休　上条井太三郎

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

廿九

四月十二日仙台文字着　江戸ハ三日立ニテ右等之内会津中荷物之事ニテ罷在候由
米沢斎藤勤役任ニ而　五ヶ條之事　穏便ニ一ヶ歳ニ　五ヶ條不行ハ大乱
内斎弘小久之頭　　陸軍参謀出　　以上同断
右五ヶ條ハ朝敵ハ　総裁　　右召以下之総統ハ　副総裁
右之総督会津党風聞ニ而　今ゟ陸軍ハ会津ヘ二本松　海軍ハ保弟西ヘ二本松
宇都宮八日立ニテ一同集リ右之面々ハ其勢大軍総督西北ヘ向テ之を見候
会津兵内ニ兵多分日光山ヘ籠リ宇都宮之城を元来之一戦出テ中入之
知メニ又不知之之又総州佐倉辺ニも新義隊小金ニ屯集致候
子爵並佐幕之論ニ相合テ知ハ十日十一日之方ヘ新義隊相揃テ一戦
大事是ハ既ニ一戦之之中ニ文字懸走之候勤王親王之方佐幕之分不

候由ニ有之

之儀ハ今般御一新ニ付万人之失所ニ相成ル者ハ村里父子ハ不知といふ 若林甲之介ハ松
代ハ諸隊ニ属 且亦テ伴刹土州御一ツ橋慶喜ヘ付一応逆賞義ニ付候
内藤長吉ニも極中ハ哉之由サしも不宜ニ白き先鋒又ハ城代等ニ 作事ハ沼津
松も出しハ不宜之旨申開候代松代ハ不宜候旨之所務ニ待様之
了之由其外箇条之ものにて○此日白川税申開候 御上京之上彼ヘ
然ニ後備ニして文中ニ不及御沙汰打前銃山より越後ヘ今般御一新之
甲州府ニ付此度之事ニ而も遠く持兵を召集ハ申候 御上京御延引ニも一ヶ歳
此之段ハ積り御尋問可有之とも御沙汰也一件書付ニ候よし

（六十）四月十三日沙汰之写

一 去月十八日 立太后 宣下ニ有之

一 去月廿一日辰刻 御親征ニ付 御発輦 同廿三日 大坂表江御着 右御発

中古以来某権現或ハ牛頭天王之類ニ其外仏語ヲ以神號ニ相称候神社不少候 何レモ其神社之
由緒委細ニ書付早々可申出候事

但 勅祭之神社 御宸翰 勅額等有之候向ハ是又可伺出 其上ニて御沙汰可有之候 其余之社ハ裁判鎮台領主支配頭等ヘ可申出候事

一 仏像ヲ以神体ト致候神社ハ以来相改可申候事

但本地抔ト唱ヘ仏像ヲ社前ニ掛或ハ鰐口梵鐘仏具等之類差置候分ハ
早々取除可申事

菩薩號御国或ハ 菩薩號御内称之分今般御停止本社標札等ニ書記し候分も

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

分明ならす
之儀ハ今度中納言一万人之先段ならる外ハ此等父子ハ不知とも若此等之儀ハ松
代ハ確論之節主家を蔑ニ伊勢土州紀州等ヲ擁し其等之儀ニ逆賞義以テ歳之
内藤若者ニも任中ハ哉之無サしも不實之向も先鋒又ハ陵代等
於ヒサシの不實之有之申存儀代松代ハ不實ニ有之候之御和らし
了る也無程存之もの○此日白川税田存ならて御上京ニ付も不存
候之御備いたし候文中ニ不存御受於て打前経山ニ而後之今中納言之
見余御世近く之余存も通稽兵を召来ハ中佐も御上京ニ近寄之事之一歳
外之送り御所劉ケ之しこも和比一万ニ至ハ而し

(六十) 四月十三日演説之写

一 去月十八日 太政官 宣下ニ寄候ト

一 去月廿八日 御沙汰之趣 御祭典向之儀ニ付其上ニ被為在候御趣意ニ

右 中古以来某権現或ハ牛頭天王之類其外仏語ヲ以神号ニ相称候神社不少候

之由緒委細ニ書付早々可申出候事

不少候何も其神社之

但 勅祭之神社 御宸翰 勅額等有之候向ハ是又可伺出其上ニ而御沙汰可有之

其余之社ハ裁判鎮台領主支配頭等へ可申出候事

一 仏像ヲ以神体ト致候神社ハ以来相改可申候事

但本地抔ト唱仏像ヲ社前ニ掛或ハ鰐口梵鐘仏具等之類差置候分ハ

早々取除可申候事

右

其表候通御内抔も今日寄候杭標札等ニ書記し候ニ付

有之候様ニ而ハ以之外ニ付以来停止ニ致 御国御領ニ而も出記
以来ト存し申付候事

一 但標札ハ姓名ヲ記又ハ女名役名ヲ記シ候ハ不苦ト申事
提灯又ハ陶器ニ右姓名ヲ書付物等ニ御役ヲ書ニ候事ハ何ニ而も以来右ニ於 御役ヲ
私ニ附ケ候事ハ決ニ而禁止旨可申付候事
但し御用ニ付出張之役先々之一ヶ所ニ而も出ス事
三月
右之通ニ可申付条未ニ近ニ奥ハ相ニ可達ス事

〇同ニ
越後ニ而不穏形勢有之候処 御山役山表ニ而海後兵ヲ遣シ十二月中ニ付来ル十二八
御人数ニ追御返シ付候自然追ニ二ヶ所ニ付申候

〇秘説

四月西夜御更宮方来云今日所見ニ於来四ヶ国ト云条因幸文所知セ候ヘ
候ニ付申付ハ四ヶ国立合候処相見候之とのことニ而右等故何ニ而も御沙汰とも不
違ノ所ノ一二ニ存候而もハ日昨ニ而候所申立ニ而ノ人ハ先途ニ而四里之人ハ蘭
霊旋鏇砲 四廿頭組合 山砲々未定 六門ハ代金代ニ相成候ハ三万両ヲ越ル程ニ而不相成 六門佳 右代
金千八百 砲台ヲ付預リ二千両持行候之よし之
此砲様其書ハ千八百五十五年鏤刻 英ニ佛帝第三世「ナポレオン三世」ノ秘スル所ニシテ世ニ公ケニセ
ス秘部一梱未スルコトモナカリシヲ近今佛国ハ格別親ヲ結ハレタルヲ以テ
僅ニ一冊贈リシモノナリ然シ幕ニ於テ藩ニ一隊ヲ与リシ事ナリシセ其内伝ニ
佛ノ教師砲隊「カピテーン」「アリーヂ」ヨリ幕府砲隊士官ニ授ルトコロニシテ
未ク諸藩ニ伝フルヲ不許 其ハ射撃表ノ如キハ今度東征ノ起ルヨリ尚秘

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

三テ世ニ不出ヨシナリ然ニ宮氏陸軍諸名家ニ周旋シテ密ニ抄譯スルヲ
得ラルヽ事実ハ此碇此表諸藩ニ無キ所也云

一 御建白條之内海軍器械陸軍器械ト云内ニ指令有以下兵卒近衛ノ在ルヲ
之覚ノ例ト両軍共不服ナリシカ九日ニ至テ海軍ニ於テ折レテ一所有之船艦十三隻
内五艘軍艦八艘商船皆官軍ヘ引出引渡ヨリ新聞紙ニ見ヘタル云
年佛蘭西ヘ注文ノ鉄船三月九日横濱ヘ着セリ此船ヲ亂軍未行定
ニ例ト依テ官軍ヘ収ラルヽナラン

一 九日発足近ハ未ダ陸軍ハ不服ニテ此テ薩州ニ支配ヲ受ルヲ不願トノ事ニテ
戦ラル一ノ存勢ナラシ何とか道ヒヲ附ラルトモ我ラ[illegible]といふ[illegible]

一 内海兵隊ハ安藝肥後ハ御預ケ[illegible]九日[illegible]
和[illegible]肥後内額ハ 天然[illegible]

一 因土人ニ[illegible]大砲八十二斤旋條(輕)加農二門十五寸二十寸臼砲二門弾丸添 茶ハ不[illegible]
多ク彼方ハ小ナルヲ好ミ[illegible]我故公ヲ付[illegible]彼[illegible]砲術ハ[illegible]
内故兵ヲ[illegible]後来スルナリ

一 薩摩少将長門少将[illegible]皆[illegible]土佐少将[illegible]
撰ミ[illegible]頭證を[illegible]唯安藝新少将[illegible]公[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]近来專勤王説を唱ヘラル

一 [illegible]歩兵ハ[illegible]陸軍[illegible]大坂ヘ兵卒[illegible]
[illegible]新[illegible]大坂[illegible]十二[illegible]七日[illegible]
[illegible]故[illegible]不[illegible]云 [illegible]攻兵[illegible]
ルヲ[illegible]輕鬼[illegible]を破リ[illegible]我甲[illegible]
土隊[illegible]兵ハ此新[illegible]兵ト同[illegible]

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』 請求記号 836-3
ガラス使用

一 北陸道鎮撫使之先鋒柿崎辺ニや罷越候処時分人氏在小銭寺アリ
ニ屯ス何レ迎返サレ当田引返リ鎮撫使是ニ罷越候迎ニテ追ヘ不得寺我下仕為
汝ニ迎ヘ候之金津之甲府越ヘ有リ手無ク節シ第ハ當和ニ所領ニ懸ル不容
易此一軍ニ而ル一ノ萬兵ノ如ク本営鎮撫使ヲ従軍座敷ニ而ク明ニ于被陣
ニ従リ速ニ進軍ニ当ルニテ共通ニ官軍此地ニ来ル何ニ所以ナルヲ不問各人ヲ帰ル
一ツ家ナルク若者タル保国ノ略 跡隠メ新在奇計ヲ諸メシ今ニ[illegible]猛然ニ
付ル[illegible]ハ滅亡ヲ待ツヲ[illegible]従ヒ下ニ背テ不及[illegible]直文官
軍参謀保科ナレハ和ハ勝ヲ計リテ是ヲ待ツニ[illegible]唯恐レ不宜敷
不[illegible]以テ[illegible]ヲ此[illegible][illegible]ハ何事[illegible]

一 甲府ノ大将ニ而人[illegible]役ニ[illegible]謀リ[illegible]軍勢ヲ従ヘ大砲[illegible]
[illegible]ハ[illegible]不[illegible]小[illegible]ト云文[illegible]

一 近藤勇 甲府ニ而七千又ハ十二三万人ト云 信州ニテ丁道ニ而三五千人ト三千云
備ヘ[illegible]金得[illegible]兵[illegible]大砲[illegible]効力[illegible]
[illegible]連発[illegible]不待[illegible]官軍[illegible]近[illegible]ト云文
甲州[illegible]一度[illegible]入[illegible]何[illegible]舟[illegible]剋[illegible]乱
[illegible]一道[illegible]人[illegible]一[illegible]未[illegible]や

一 川口宿村ノ[illegible]両右[illegible]故 [illegible]川口[illegible] 唯[illegible]
[illegible]花[illegible]
[illegible]唯一[illegible]百五十両之大金[illegible]
[illegible]人[illegible]ト云[illegible]軍[illegible]
[illegible]一日[illegible]両氏[illegible]
[illegible]巨[illegible]
[illegible]唯二十[illegible]

右封候ニ付二更迄ニ在ル処ニ下ヲ去ル所ナリ候事

一 初官軍下向之時ハ奥羽紀州ハ御親兵之首ヲ斬リ而ホテ慶科ナキヘシ
ヲ以テ夷下ニ仕ル以死守義之覚悟ノ中ニ落ス方ニ至ル大久保一翁勝安房
軍ニ周旋ニ遊ス参謀西郷吉之助ヲ説キ処ニ亦其鋒ヲ挫キ退ク迄ハ今
度ニ寛典ト成ルヘキ由

一 官軍ノ勢ヒ往テ砲兵所長田綾三郎行ク所ニ至ル処ニハ奥羽鎮撫使九條殿賊
仙台ヲ以テ定メル松前箱館ヲ取ル為ニ奥羽松島 石巻港ヨリ上陸仙台へ
巡視ノ有ル節ニ仙台ヨリ節ニ至リ二本松ニテ降伏ス 天ノ命ニ一服
今ニ奥羽諸藩之殊ニ援有ヲ以テ御寛典ハニ其ノ奥羽諸藩ニ至ルハ處ニ有ル
奥羽ニテ右長田氏ハ仙台ニ往テ早ク仙台侯其事ヲ之ヘ至ルヘシト云

一 初陸軍局ニ謀リ官軍モ西北ニ接シ入レ地雷ヲ埋メテ一ノ塞ト計ラレ由官カ之テ
以擾ヲ止メ申ニハ其ニ以テ已ニ止リ候ハ實ニ中ニ申スヘク地雷モ乃ヲ成ス次
若ニテ治備ノ内謀使レ顕レルニ何レモ砲術ニ至ル其ノ力ナル者ハ其トリ云

一 出陸軍ニハ官軍ニ告ル情ヲ何ニモト宮首日ニ殺人事アリ又国色ノ属士ホ字
家ニ近藤勇ノ在所ヲ探索ノ為ニ申ス西心者ニ田書ヲ来ル
根ノ在ル所ニ日ニ候ニ勤ル者有テ其事ニ勝テ聞出スハ一実ナルヘシト云
ニ申ニ候ニ先ニ申ナリ

一 宮方吉等ヘ係蘭西行旋條砲ハ実ニ陸軍所ニ秘スル所ナリ国法ノ郷宅ニ蟄
輕気法則 明治年小冊子 及第弐度表一冊今陸軍局ニ秒設ニ士官ニ授ケル
ナル陸軍教ヘ及テ度ニ掌ラセ其射法彈之射撃表ハ依ル新ニテ力テ秒設
ヲ其一冊ヲ教ヘニテ法ニ依テ其ノ知ニ先頃ニ於テ何ニ砲ヲ中偶ニ試
放ツ候スルモ何之法ニ当ル者ハ其門派ヲ定ムルヲ秘シ或ハ会ヒ候ハ

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

836
209
3

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』請求記号 836-3

ガラス使用